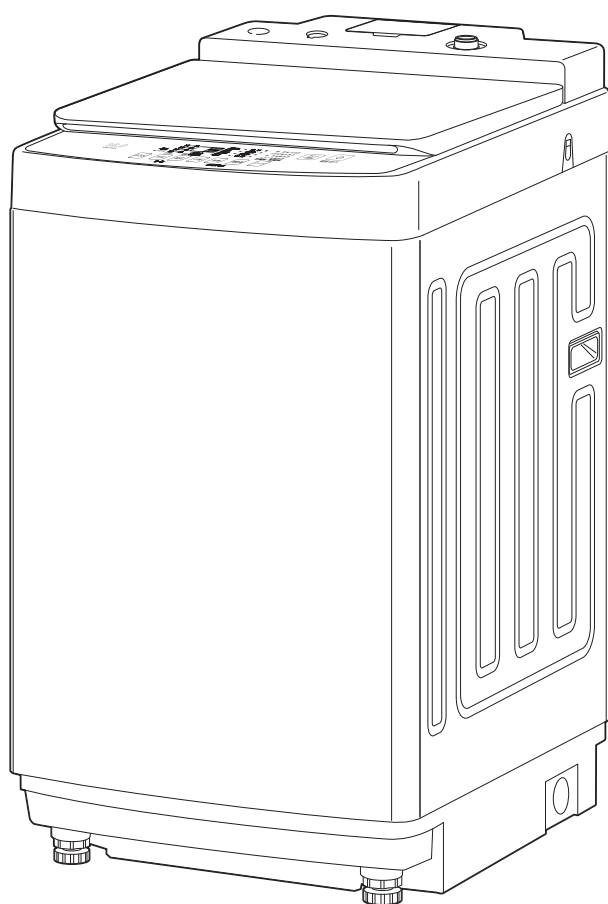


全自動洗濯機

KAW-100B

取扱説明書



この商品は海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよく読んで、正しく使用してください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ず読んでください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	5
洗濯物について	8

取り扱いかた

洗濯前の準備	9
液体洗剤・柔軟剤自動投入機能について	11
洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は	14
洗濯	
標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコース	15
ドライコース	17
毛布コース	19
洗い・すすぎ・脱水を別々に設定して洗濯する...	21
タイマー予約洗濯	24
ふろの残り湯を使用する	25
チャイルドロックモード	28
部屋干しモード	28
お手入れ	30
コース一覧	34

こんなときには

故障かな？と思ったら	35
仕様	41
長期使用製品について	42
保証とアフターサービス	42

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。

据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



接触禁止

- 回転中の洗濯・脱水槽に手などを入れない
ゆるい回転でも、洗濯物が巻きついて大けがの原因になります。回転が完全に止まるまでは洗濯物や洗濯・脱水槽に絶対に触れないでください。



- ふたが破損したり、脱水中にふたを開けたときに脱水槽が停止しないときは、直ちに使用を中止する
事故の原因になります。お買い上げの販売店またはアイリスコールへ修理を依頼してください。



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 子どもに洗濯・脱水槽の中をのぞかせない
- 近くに子どもが乗りやすい台などを置かない
- 子どもに使わせない
洗濯・脱水槽に落ちて、けがをしたりおぼれたりする原因になります。



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
【異常の例】
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとピリピリ電気を感じる
 ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 40℃以上のお湯を使用しない
- 給湯器につながらない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤、整髪料、潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のものを入れない
火災の原因になります。



火気禁止

- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを入れたり近づけたりしない
火災の原因になります。



- 上に乗ったり、寄りかかったりしない
- 重いものを載せない
転倒事故などの原因になります。



- 防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない
洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。
部屋干しモードも使用しないでください。
防水性のもの・水を通しにくいもの
雨合羽・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シート・玄関マット・バスマット など

- 衣類を入れすぎない
運転中に衣類が洗濯・脱水槽から飛び出して、衣類が損傷したり、洗濯機の部品の破損の原因になります。



- 洗濯機の下に手や足などを入れない
回転部などに触れるとけがの原因になります。かさ上げ台などを使用すると、床面とのすき間が大きくなるのでご注意ください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。

ふろ水使用について



- 本体よりふろ水の水位が高いところから吸水しない
- ふろ水ホースの吸水口を浴槽に入れたまま、ふろ水ホースを本体から外さない
サイフォン現象で水が出続けるため、水があふれる原因になります。

安全上の注意 つづき



- 給水ホースは確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。



- 衣類の洗濯以外に使用しない
- 業務など家庭用以外に使用しない
本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、故障の原因になります。

使用上の注意

- 本体（特にふたや操作パネル）に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐにしぼったタオルなどで拭き取ってください。
印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れることがあります。
- 使用後は万一の水もれを防止するために、水栓を閉めてください。
- 洗剤は入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡が飛んで周囲をぬらす原因になります。
- 洗濯物を入れすぎないでください。
洗濯物の傷み、洗濯機の破損の原因になります。
- ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには据え付けしないでください。
- 洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。

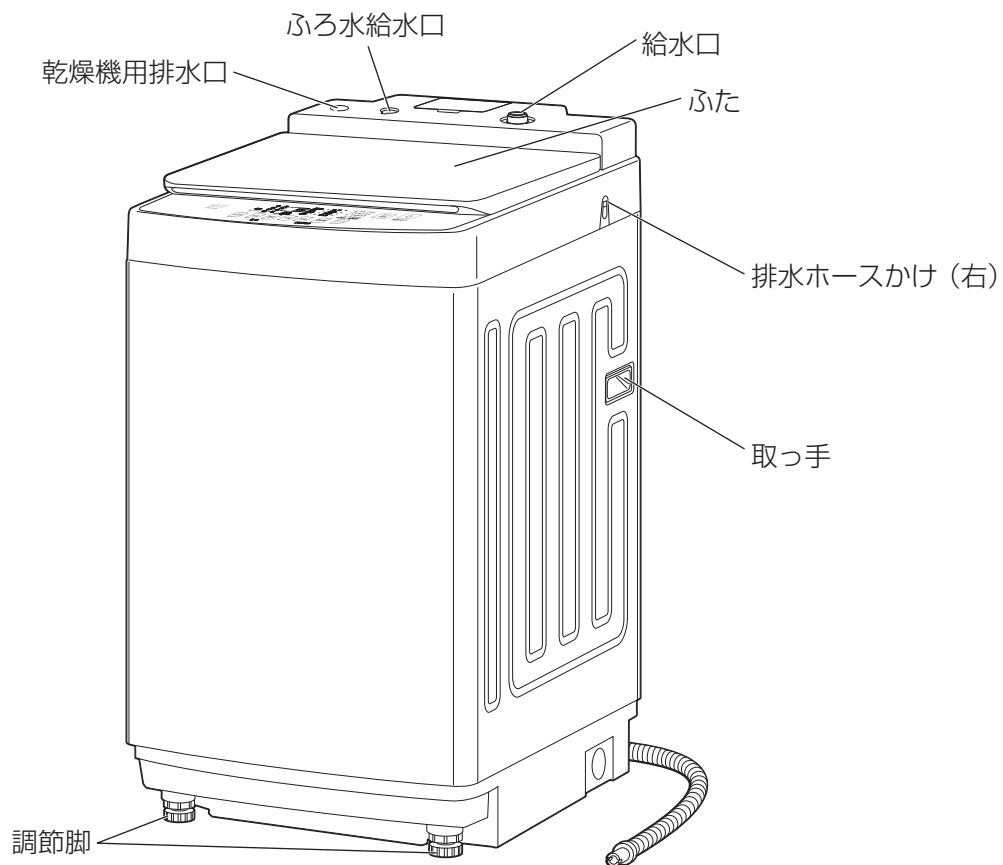
- スタート／一時停止ボタンを押して洗濯を開始した後は、**洗い・すすぎ・脱水・コース**については変更できません。
水位の変更と、ふろ水使用の停止のみできます。

廃棄について

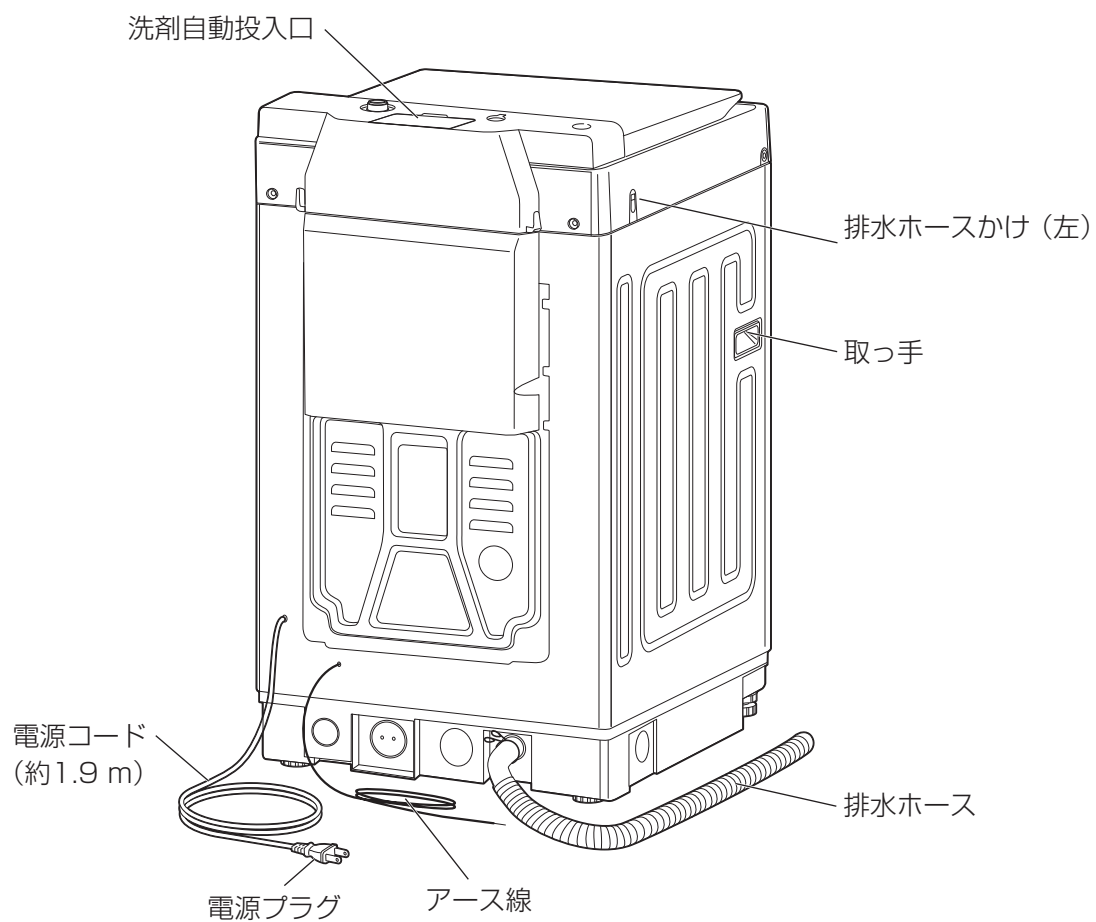
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。
- 子供を含む、補助を必要とする方がこの機器を使用する場合は、安全管理を行う方の付き添いおよび指示のもとで行ってください。小さな子供やペットが洗濯槽に誤って落下および作動させないでください。

各部の名称

■正面

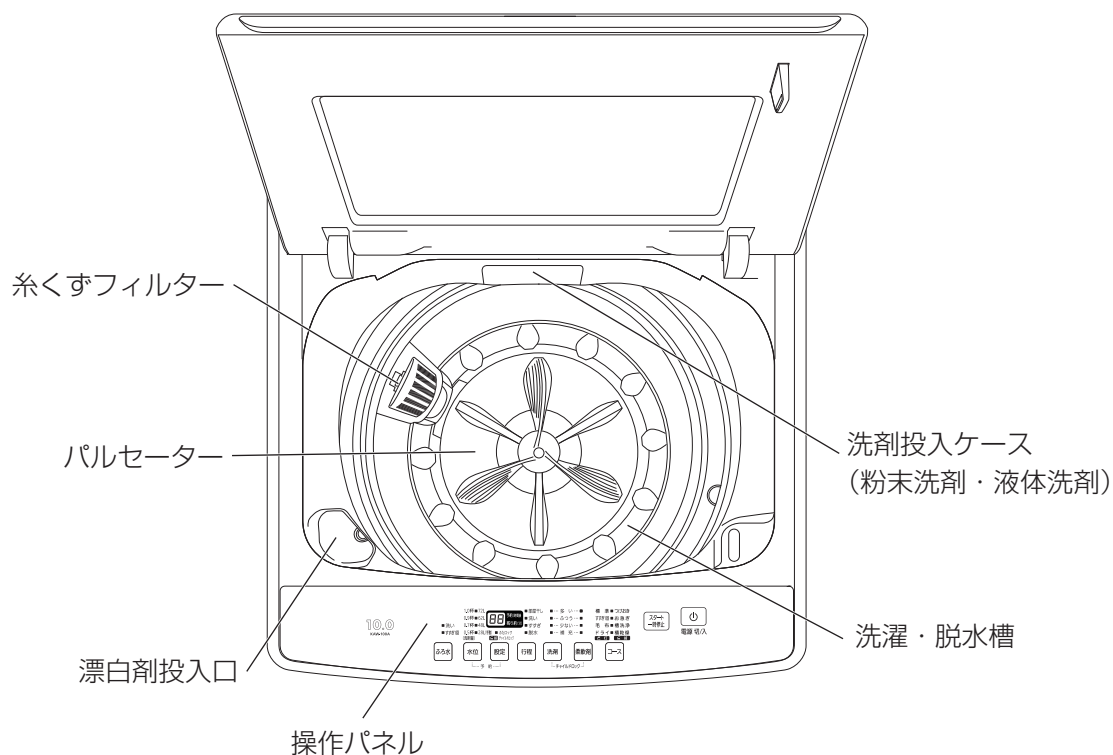


■背面

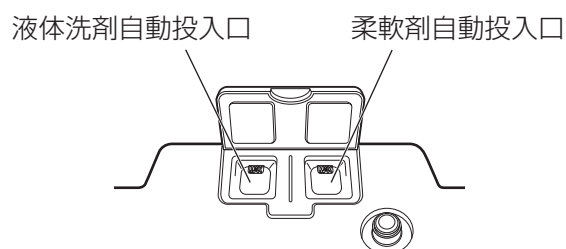


各部の名称 つづき

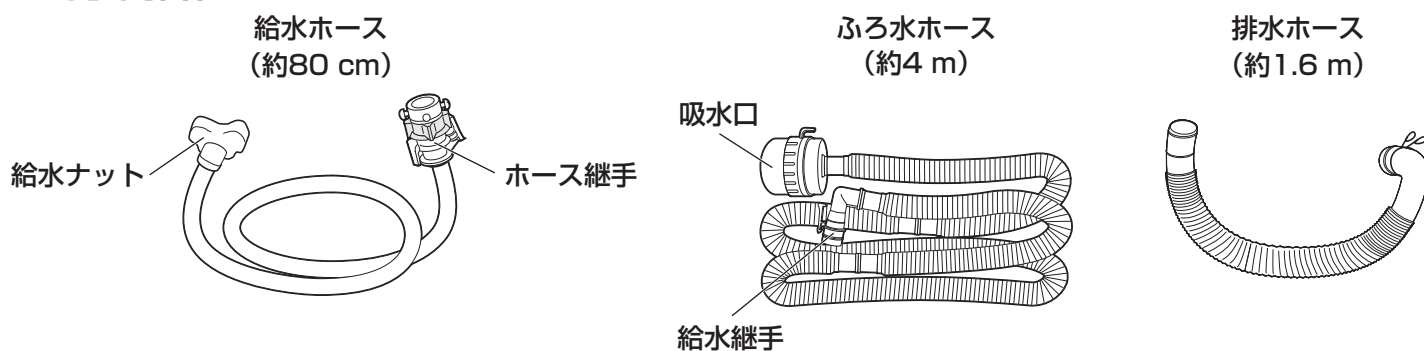
■洗濯・脱水槽



■液体洗剤・柔軟剤自動投入口



■付属品



■操作パネル

水位ボタン・ランプ

ボタンを押して洗濯する水位を選びます。水位に応じた洗剤量を目安に洗剤などを投入してください。

行程ボタン・ランプ

コースを選んだあとでボタンを押すと、洗い・すすぎ・脱水の各行程の時間（すすぎは回数）を変更することができます。また、**部屋干しモード**を使用することもできます。各行程だけを行いたいときなどは、21ページをご覧ください。

電源 切/入ボタン

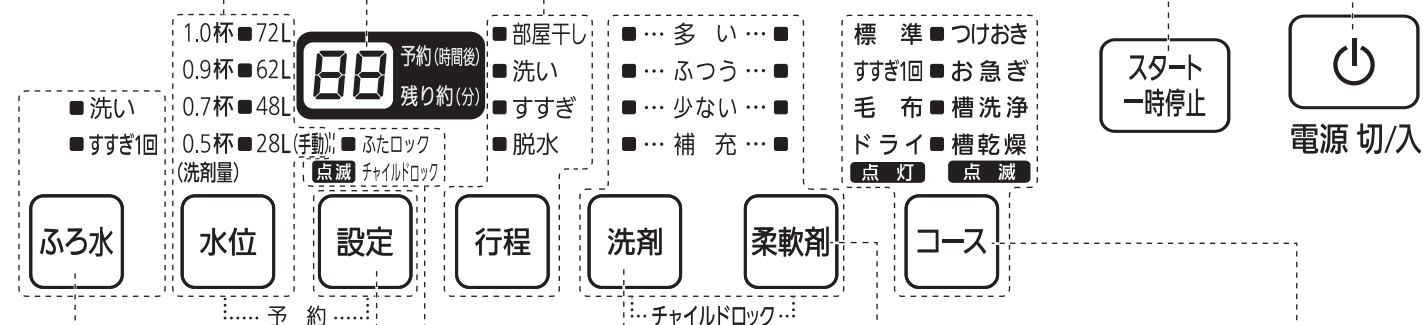
電源を入・切します。運転終了後は約6秒で電源が切れます。また、電源を入れて約10分間何もしないと、電源が切れます。

時間表示部

残時間・予約時間・エラーコードを表示します。

スタート/一時停止ボタン

洗濯を開始するとき、一時停止するときに押します。一時停止すると、ふたロックが解除されます。（脱水時は安全のため洗濯・脱水槽の停止を確認するので、停止するまで約1分かかります。）



ふろ水ボタン

ふろ水を使用する行程を選びます。(→P25)

洗剤ボタン・ランプ

自動投入時の洗剤量を設定することができます。(→P13)
補充ランプが点灯した場合、洗剤を補充してください。(→P11)

柔軟剤ボタン・ランプ

自動投入時の柔軟剤量を設定することができます。(→P13)
補充ランプが点灯した場合、柔軟剤を補充してください。(→P11)

ふたロック・チャイルドロックランプ

ふたがロックされているときに点灯します。また、**チャイルドロックモード**を入にすると点滅し、ふたがロックされます。(→P28)

コースボタン・ランプ

洗濯のコースを選びます。ランプの点灯と点滅でコースを表示します。

設定ボタン

行程ボタンで選択した行程の時間・回数を設定します。

洗濯物について

■洗濯・脱水できないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の取り扱い絵表示のあるもの

 または  : 家庭での水洗いはできない、または洗濯処理はできない

 または  : 石油系ドライクリーニング

- 取り扱い絵表示や素材表示のないもの
- 皮革・毛皮・羽などが使われている製品
- 和服・和装小物
- ネクタイ・スーツ・コート

- レーヨン・キュプラ及びそれらの混紡が使われている製品
- 絹製品
- ベルベットなどのパイル地製品
- 強撚糸（強くよじった糸）を使用した製品（ウール・ちりめんなど）
- 毛100%または毛足10mm以上の毛布やカーペットカバー
- 靴
- コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

※厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

■脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

●防水性製品

洗濯できる表示があっても洗わないでください。

●玄関マット・ラグマット・敷物

裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの

※3ページ **安全上の注意** もご覧ください。

●カーペット

●座ぶとん・まくら・クッションなど

●ペットなどの毛が多量に付着したもの

●市販の洗濯補助具

洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど

■部屋干しモードが使用できないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

●以下の取り扱い絵表示のあるもの

 または  : ドライクリーニング

 または

「弱くしぼる」などの指示

 : 弱くしぼるのがよい

 または  : つり干しがよい

 または

「しぼってはいけない」などの指示

 : しぼってはいけない

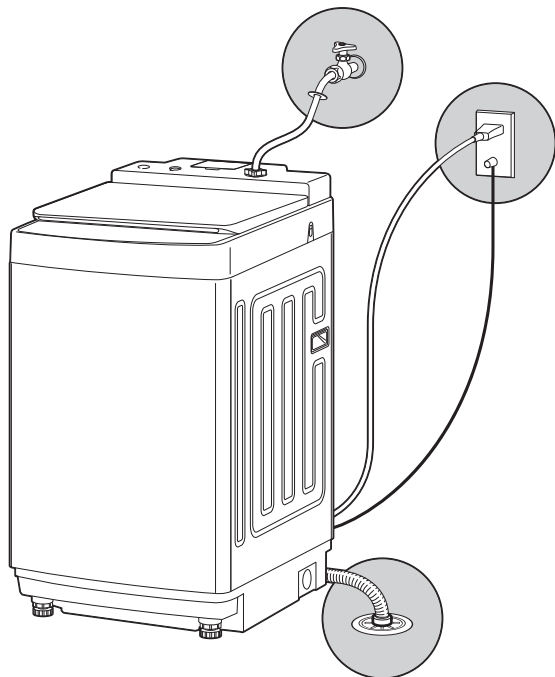
- ゴムやウレタンなどを使用した製品
- わたやウレタンの入ったマット・ふとん・ぬいぐるみなど
- ウール及びウール混紡製品

- 色落ち・色移りしやすいもの
- しわが付きやすい製品
- その他、洗濯・脱水できない製品は、部屋干しモードも使用できません。

洗濯前の準備

1 据え付けの確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- ・電源プラグがコンセントの奥までしっかり差し込まれているか
- ・アースが接続されているか

排水ホース

- ・確実に排水口に取り付けられているか
- ・排水が止まらないように高さ10cm以内に収まっているか
- ・排水ホースが脚などにはさまっていないか

給水ホース

- ・水栓（蛇口）の接続は、付属の給水ホースを使用して、ワンタッチ継手で接続しているか
- ・本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めであるか
- ・接続部分にゆるみやがたつきがないか
- ・水栓（蛇口）にさびは発生していないか

※給水栓は、ストッパー付きの給水栓をおすすめします。（据付説明書参照）

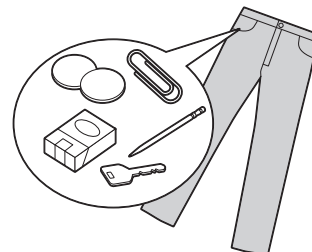
本体

- ・水平に設置されているか
- ・がたつきはないか
- ・排水ホースや給水ホース、水栓（蛇口）を圧迫していないか

2 洗濯物を確認する

ポケットの中のもの（硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など）は取り除く

- ・洗濯物の傷みや排水経路のつまり・破れ、洗濯・脱水槽の破損の原因になります。

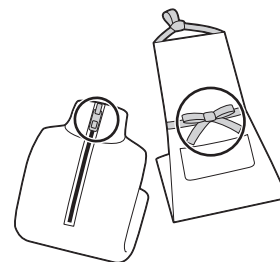


ひもなどは結ぶ

ファスナーは閉める

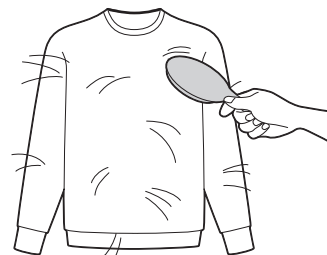
ボタンや面ファスナー（マジックテープ）はとめる

- ・洗濯物がすれたり、からまったりして、傷む原因になります。



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす

- ・排水経路がつまる原因になります。



起毛素材（コーデュロイなど）・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す

- ・摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯ネットに入れてください。



洗濯前の準備 つづき

3 洗濯物を分ける

色落ちしやすいもの・濃い色のものと、白いもの・色の薄いものを分ける

- 色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押しつけ、色落ちしないか確認してください。
- 色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

糸くずが出やすいものと、糸くずが目立つものを分ける

- タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。
- コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止用洗濯ネットに入れて洗ってください。

デリケートな洗濯物は市販の洗濯ネットに入れる

- レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなどは洗濯ネットに入れて洗ってください。
- ワイヤー入りブラジャーは、市販のブラジャー専用洗濯ネットに入れて洗ってください。

4 洗濯物を入れる

- 洗濯のコースによって、洗濯できる量が決まっています。次の表を目安に、最大量を超えないように入れてください。

コース	用途	洗濯できる量
標準	ふだんの洗濯	10.0kgまで
すすぎ 1回	すすぎ1回用 洗剤に おすすめ	10.0kgまで
毛布	毛布を洗濯する	4.0kgまで
ドライ	ウールなどを 洗濯する	2.0kgまで
つけおき	汚れの多いものを 洗濯する	6.0kgまで
お急ぎ	時間を短縮して洗 濯する	6.0kgまで

※ 素材によって重さは異なるので、慣れないうちは少なめに入れてください。

衣類の重さ（目安）

		
パジャマ上下 (綿) 約500g	スカート (混紡) 約400g	ワイシャツ (混紡) 約200g
		
アンダーシャツ (綿) 約130g	シーツ (綿) 約500g	バスタオル (綿) 約300g
		
タオル (綿) 約70g	ブリーフ (綿) 約50g	くつ下 (混紡) 約50g

- 重いものや水に浮きやすいものから先に入れてください。
- 水に浮きやすいものだけのときは、給水後一旦運転を停止して、上から押さえ、洗剤液を十分にしみこませてください。
- 水に浮きやすい衣類は次のようなものです。
**表地や裏地が化繊100%のジャンパーなど
フリースなど化繊100%、または混紡の衣類**
- 洗濯ネットに入れた洗濯物は、必ず他の洗濯物と一緒に洗濯・脱水してください。洗濯ネットに入れた衣類だけだと衣類が1か所に固まるため、脱水時の振動が大きくなります。
- 洗濯ネットに入れた洗濯物は先に入れてください。

液体洗剤・柔軟剤自動投入機能について

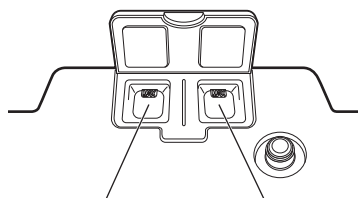
洗濯のたびに使用する水の量に合わせて自動的に液体洗剤・柔軟剤を投入します。

■自動投入口へ液体洗剤・柔軟剤を入れる

- ・自動投入できる洗剤・柔軟剤は液体のみです。
- ・液体以外の洗剤や柔軟剤を使用するときは、14ページを参考にしてください。
- ・漂白剤は漂白剤投入口に入れてください。

液体洗剤・柔軟剤投入口

- ・液体洗剤・柔軟剤自動投入口のふたをあけ、液面が投入口の「MAX」と表示された部分を超えないように液体洗剤・柔軟剤を入れてください。
- ・液体洗剤・柔軟剤とも最大で約1L入ります。



液体洗剤自動投入口 柔軟剤自動投入口

- ・粘性の高いものや、固まったり、分離したものは使用しないでください。
- ・次のような場合、液体洗剤・柔軟剤自動投入口のお手入れをしてください。(→P32)
 - 定期的に(およそ3か月ごと)
 - 使用する液体洗剤や柔軟剤の種類を変えるとき
 - 1か月以上使わなかったとき

補充ランプが点灯したら

- ・補充ランプが点灯したら、液体洗剤・柔軟剤を補充してください。
- ・補充ランプは残り約200mLで点灯します。
- ・液体洗剤・柔軟剤の種類を変更するときは自動投入口のお手入れが必要です。(→P32)

自動投入で使用できない洗剤

- ・粉末合成洗剤
- ・液体石けん
- ・液体の複合石けん
- ・おしゃれ着用液体中性洗剤(毛・絹用)
- ・漂白剤(ハイターなど)
- ・洗濯のり
- ・重曹

濃縮液体洗剤・濃縮柔軟剤を自動投入するときは

- ・濃縮液体洗剤や濃縮柔軟剤を自動投入するときは初期運転終了後、次の通り設定を行ってください。

濃縮液体洗剤を使用する場合

- ・設定ボタンと洗剤ボタンを3秒間同時に押し続けます。



- ・洗剤ランプが点灯から点滅に変わり、設定が完了します。

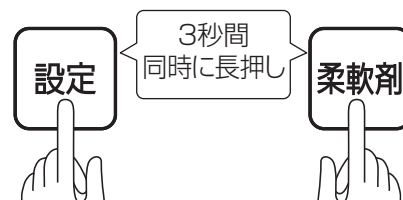
※ 設定完了後も洗剤ランプは点滅したままになります。

※ 一度設定すると記憶されるため、電源を切っても再設定の必要はありません。

※ 設定を解除する場合は、再度設定ボタンと洗剤ボタンを同時に3秒間押し続けてください。洗剤ランプが点滅から点灯に変わり、設定の解除が完了します。

濃縮柔軟剤を使用する場合

- ・設定ボタンと柔軟剤ボタンを3秒間同時に押し続けます。



- ・柔軟剤ランプが点灯から点滅に変わり、設定が完了します。

※ 設定完了後も柔軟剤ランプは点滅したままになります。

※ 一度設定すると記憶されるため、電源を切っても再設定の必要はありません。

※ 設定を解除する場合は、再度設定ボタンと柔軟剤ボタンを3秒間同時に押し続けてください。柔軟剤ランプが点滅から点灯に変わり、設定の解除が完了します。

■初めて使用するとき

- 初めて液体洗剤・柔軟剤の自動投入を使用するときは、以下の設定を行ってください。自動投入機構の内部に、液体洗剤・柔軟剤が充填されます。

1 液体洗剤・柔軟剤を自動投入口に補充する

2 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる



3 電源を入れて5秒以内に洗剤ボタン・柔軟剤ボタン・コースボタンを同時押しする

- ※5秒経過すると設定できなくなります。その場合は、電源を入れ直してください。



- 時間表示部に「RR」と表示されます。



4 液体洗剤・柔軟剤の初期運転を開始する

液体洗剤の場合

- 水位ボタンを押すと、時間表示部に「P1」と表示され、液体洗剤初期投入を開始します。



- 約100秒間の運転終了後、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。

※ 充填が完了すると、「RR」と表示されます。

柔軟剤の場合

- 設定ボタンを押すと、時間表示部に「P2」と表示され柔軟剤初期投入を開始します。



- 約100秒間の運転終了後、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。

※ 充填が完了すると、「RR」と表示されます。

5 電源 切/入ボタンを押して電源を消す

■ 自動投入の使いかた

- 自動投入の設定を解除しない限り、液体洗剤・柔軟剤の投入は自動で行われます。

①電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

②洗濯を開始する

- コースボタンでコースを選んだあと、スタート／一時停止ボタンを押すと、パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、水の量に合わせて自動的に液体洗剤・柔軟剤を投入します。

自動投入量の変更をする場合

- スタート／一時停止ボタンを押すまでに、洗剤ボタン・柔軟剤ボタンを押します。ボタンを押すたびに、それぞれの投入量を「多い」、「ふつう」、「少ない」から選択することができます。

液体洗剤

- … 多 い
- … ふつう
- … 少ない
- … 補 充

柔軟剤

- 多 い … ■
- ふつう … ■
- 少ない … ■
- 補 充 … ■



■ 自動投入設定の解除

- 自動投入で使えない洗剤を使う場合や液体洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入設定を解除してください。

①洗剤ボタン・柔軟剤ボタンを押して、投入量選択のランプ全てを消灯させる

液体洗剤

- … 多 い
- … ふつう
- … 少ない
- … 補 充

柔軟剤

- 多 い … ■
- ふつう … ■
- 少ない … ■
- 補 充 … ■



※ 補充ランプは点灯している場合があります。

液体洗剤自動投入量（目安）

水位	液体洗剤			濃縮液体洗剤		
	少ない	ふつう	多い	少ない	ふつう	多い
28L	20mL	25mL	30mL	8mL	11mL	13mL
48L	34mL	42mL	51mL	14mL	18mL	21mL
62L	44mL	55mL	66mL	19mL	24mL	28mL
72L	52mL	66mL	79mL	23mL	29mL	34mL

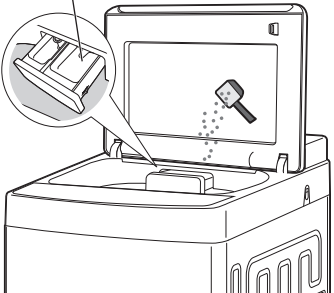
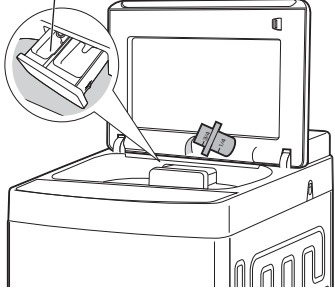
柔軟剤自動投入量（目安）

水位	柔軟剤			濃縮柔軟剤		
	少ない	ふつう	多い	少ない	ふつう	多い
28L	12mL	16mL	19mL	6mL	8mL	9mL
48L	21mL	27mL	32mL	10mL	13mL	15mL
62L	28mL	35mL	42mL	13mL	17mL	20mL
72L	33mL	42mL	50mL	16mL	21mL	25mL

洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は

洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入設定の解除を行ってください。(→P13)

洗剤・柔軟剤の入れかた

粉末合成洗剤 - 洗剤投入ケース右側の粉末洗剤投入口に入れてください。 ※ 粉末合成洗剤は、入れすぎないでください。洗剤が固まって残ることがあります。 粉末洗剤投入口 	液体洗剤・液体中性洗剤 洗剤投入ケース左側の液体洗剤投入口へ入れてください。給水に伴い水に溶けます。 液体洗剤投入口 	粉石けん あらかじめ洗剤を溶かした洗剤液を作って、給水が始まる前に洗濯・脱水槽に入れてください。30℃くらいのぬるま湯約5Lを用意し、かき回しながら、粉石けんを少しずつ入れます。 
---	---	---

※ **スタート／一時停止**ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「[-!」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

柔軟剤

- 柔軟剤を手動投入する場合は、最終すすぎの段階で、**スタート／一時停止**ボタンを押して、ふたロックを解除して洗濯・脱水槽に投入してください。
- 投入後、再度**スタート／一時停止**ボタンを押して洗濯を再開してください。
- ※ 少量の水と混ぜると固まるものがあります。柔軟剤の説明にしたがってください。
- ※ 脱水のときに、洗濯物の片寄りを検知すると、給水して片寄りを修正します。このため、柔軟剤の効きが弱くなる場合があります。

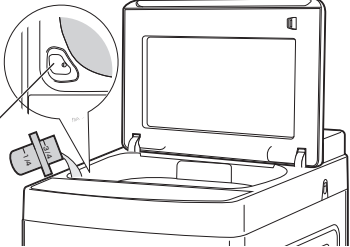
・ 計量キャップ・計量スプーンが付いていないときは、以下の表を目安に入れてください。

水位	合成洗剤		粉石けん	柔軟剤	
	粉末洗剤 (g) 液体洗剤 (mL)	液体中性洗剤		一般タイプ	濃縮タイプ
28L	約18g (mL)	約36mL	約32g	約19mL	約7mL
48L	約31g (mL)	約61mL	約55g	約32mL	約11mL
62L	約40g (mL)	約79mL	約71g	約41mL	約15mL
72L	約46g (mL)	約92mL	約82g	約48mL	約17mL

※ **お急ぎ**コースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。

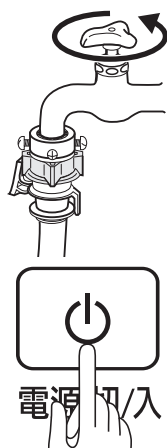
● 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

漂白剤の入れかた

粉末漂白剤 水に少しずつ溶かしながら、洗剤投入と同時に、洗濯・脱水槽に入れてください。	液体漂白剤 洗剤投入と同時に、漂白剤投入口に入れてください。 漂白剤投入口 
---	--

※ 漂白剤の量は、漂白剤の説明にしたがってください。

- 1** 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します
- 洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入設定を解除してください。(→P13)

点灯 標準 ■	標準	通常はこのコースを選んでください。
点灯 すすぎ1回 ■	すすぎ1回	すすぎ1回にした節水のコースです。
点灯 毛布 ■	毛布 (19ページ)	毛布洗い用のコースです。
点灯 ドライ ■	ドライ (17ページ)	セーターなどデリケートな衣類の洗濯に使用します。
点滅 つけおき	つけおき	標準コースの前に、パルセーターの回転を止めてつけ置き洗いする行程を組み合わせたコースです。
点滅 お急ぎ	お急ぎ	短時間コースです。
点滅 槽洗浄	槽洗浄 (30ページ)	お手入れで槽洗浄するときのコースです。
点滅 槽乾燥	槽乾燥 (31ページ)	お手入れで槽乾燥するときのコースです。

※ドライ、槽洗浄、槽乾燥コース以外では、洗いやすすぎにふる水を使用することができます。(→P25)

3 スタート／一時停止ボタンを押す

- 洗濯がスタートすると、パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、水位・洗剤量の目安を表示し、1分間待機します。



1.0杯 ■ 72L
0.9杯 ■ 62L
0.7杯 ■ 48L
0.5杯 ■ 28L(手動)
(洗剤量)

水位を変更するとき

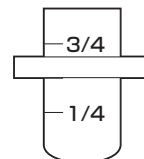
- 軽い洗濯物（化繊の衣類・シーツなど）を入れたときは、水位が低く設定されることがあります。また、ぬれた衣類を入れると、水位が高く設定されることがあります。衣類の素材や状態によって、水位の設定値が変わることがあります。このようなときは、給水中に水位ボタンで設定を変更してください。



※給水が進んでから水位を低く設定したときは、排水せずに、すでに給水された水量で洗濯が始まります。

4 洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、表示にしたがって入れる

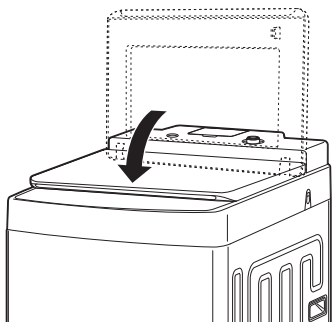
- 洗剤・柔軟剤に付属している計量キャップ・計量スプーンで、表示された量を目安に入れてください。



- 洗剤や柔軟剤の入れ方については、14ページを参考にしてください。
- ※お急ぎコースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。

5 ふたを閉める

- ふたを閉めると、**ふたロックランプ**が点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
- スタート／一時停止**ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「**2**」と「**!**」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。



ふたロックについて

- 洗濯中は、給水が始まると、運転終了までふたロックがかかります。ふたロック中は、**ふたロックランプ**が点灯します。

点灯

■ ふたロック

- 洗濯の途中で電源を切るとふたロックは解除されます。
- 停電したときは、ふたロックがかかったままになります。再び電源を入れるとふたロックは解除されます。

ふたロックの解除

- 洗濯の行程が全て終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯して、ふたロックが解除されます。

消灯

■ ふたロック

- 洗濯の途中でふたロックを解除するには、**スタート／一時停止**ボタンを押してください。**ふたロックランプ**が消灯し、ふたロックが解除されます。



- 脱水の途中で**スタート／一時停止**ボタンを押したときは、安全のため、約1分経って洗濯・脱水槽が停止してから、**ふたロックランプ**が消灯して、ふたロックが解除されます。

点灯

■ ふたロック

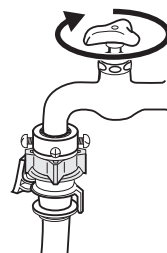
消灯

■ ふたロック

(約1分間)

6 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 洗濯が終了すると、「ピー ♪」と6回鳴ってお知らせします。
- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P31)
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。



1 洗濯物を確認する

- ドライコースで洗える洗濯物の量は、2.0kgまでです。
- 水位は62Lになり、他の設定は選べません。

※必ず表示を確認してください。

洗えるもの

 または  の表示があるもの

 または  の表示のあるもの

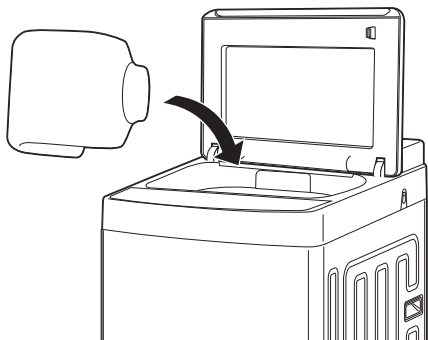
- ・ウール・アンゴラ・カシミアのセーター・カーディガンなど
 - ・スラックス・スカート・学生服類
 - ・ブラウス・シャツ・ランジェリー類
- ※上記でも洗えないものがあります。

洗えないもの

- ・水につけると、形くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- ・皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- ・シルク・レーヨン（ポリノジックを含む）・キュプラ及びその混紡品（裏地に使われているものでも洗わないでください。）
- ・スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、形くずれしやすいもの
- ・コーティング・樹脂加工（接着剤を使用したもの）エンボス加工・しわ加工がほどこされたもの
- ・ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- ・毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
- ・水に浮いてしまうもの
- ・防水加工されたもの
- ・水で色落ちするもの

2 洗濯物を入れる

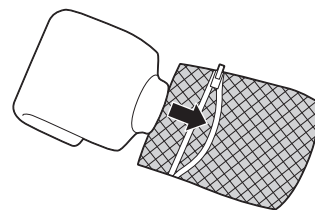
- ・入れる前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・衣類は洗濯・脱水槽に入る大きさに折りたたみ、洗濯・脱水槽の底に平らに入れてください。



- ・デリケートな衣類は洗濯ネットに入れてください。
- ・洗濯ネットに入れたセーターなどは、汚れている方を下にしてください。
- ・洗濯ネットを使用する場合は、他の衣類も入れてください。洗濯ネットの衣類だけだと衣類が1か所に片寄るため、脱水時の振動が大きくなります。

洗濯ネットへの入れかた

- ・1枚ずつ、目の粗い市販の洗濯ネットに入れてください。
- ・衣類は裏返して、えり・そでなど汚れたところが表に出るようにしてください。



3 水栓を開け、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる



4 コースボタンでドライコースを選ぶ

点灯
ドライ ■



- ドライコースでは、液体洗剤の自動投入を解除し（→P13）、洗濯用液体中性洗剤を手動投入してください。

- ・柔軟剤を手動投入する場合は、柔軟剤の自動投入設定も解除してください。（→P13）
- ※ドライコースでは、ふろ水を使用することはできません。

5 スタート/一時停止ボタンを押す

- ・約1分後に給水が開始されます。



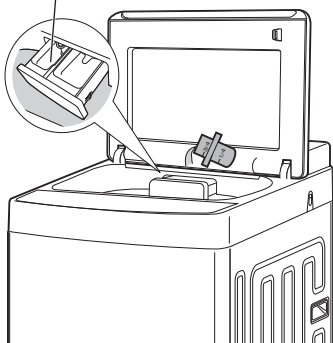
つづく→

6 液体洗剤を手動投入する

●ドライコースでは、洗濯用液体中性洗剤を手動投入してください。

- ・ドライコースの水位は**62L**で、他の設定は選べません。**62L**の水位に合わせた量の洗濯用液体中性洗剤を入れてください。

液体洗剤投入口

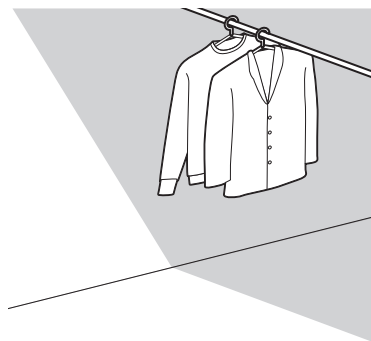


- ・柔軟剤を手動投入する場合は、14ページ「**柔軟剤**」の項を参考に、**62L**の水位に合わせた量を入れてください。
- ・ドライコースでは、漂白剤は使用しないでください。



8 終了したら、洗濯物を取り出す

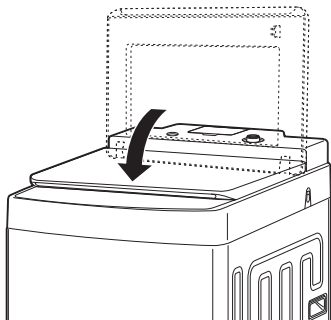
- ・洗濯が終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯してふたロックは解除されます。
- ・洗濯が終了すると、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- ・洗濯物は早めに取り出して、しわをのばすように広げ、風通しのよい直射日光の当たらないところで乾かしてください。



- ・洗濯物を取り出した後は、水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P31)

7 ふたを閉める

- ・ふたを閉めると、**ふたロックランプ**が点灯して、ふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・**スタート／一時停止**ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「- !」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。



洗濯 毛布コース

1 洗濯物を確認する

- 毛布コースで洗える洗濯物の量は、4.0kgまでです。
- 水位は72Lになり、他の設定は選べません。
- 毛布を洗う場合は、1回の洗濯につき1枚のみ、重さ4.0kgまでにしてください。

洗えるもの

- ・毛布

または の表示があるもの

または の表示のあるもの

種類：マイヤー毛布、タフト毛布、綿毛布

大きさ：ダブルサイズ（210×200cm）まで

重さ：4.0kg以下

- ・カーペットカバー
- ・ベッドパッド
- ・カーテン

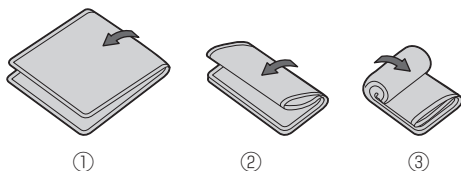
※洗える電気毛布は電気毛布の取扱説明書にしたがってください。

洗えないもの

- ・毛100%の毛布・カーペットカバー
- ・防水性のあるもの
- ・化繊以外の詰め物がされているふとんなど
- ・電気毛布・電気マット

2 洗濯物を折りたたむ

- ・折りたたむ前に、ごみや糸くずを取り除いてください。
- ・長い方を四つまたは八つに折り、短い方に巻いてください。毛布洗い用洗濯ネットに入れる洗濯物は、できるだけ高さを低くするように折ってください。



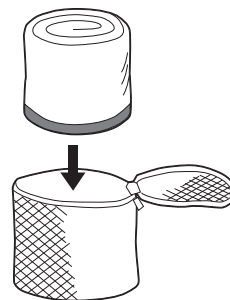
- ・マイヤー毛布以外はゆるめに巻いてください。
- ・次の洗濯物は、必ず毛布洗い用の洗濯ネットに入れてください。

毛布、布の傷みが気になるもの

※毛布洗い用洗濯ネットに入れずに洗うと、洗濯物を傷めるおそれがあります。

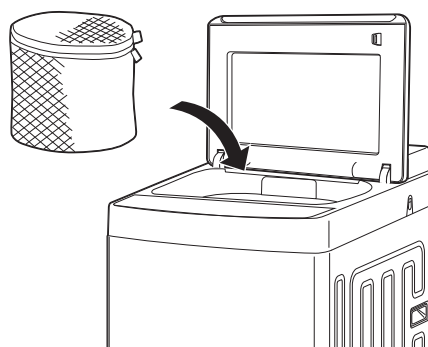
※毛足の長いものや厚みのあるものなど、毛布洗い用洗濯ネットに入らないときは洗濯できません。

- ・縁のある方を下になるように洗濯ネットに入れ、ファスナーを閉めてください。



3 洗濯物を入れる

- ・ファスナーを上側にして入れてください。



4 水栓を開け、電源 切/入ボタンを押して電源を入れる



5 コースボタンで毛布コースを選ぶ

点灯
毛布



- 毛布コースでは、液体洗剤の自動投入を解除し（→P13）、洗濯用液体中性洗剤を手動投入してください。

- ・柔軟剤を手動投入する場合は、柔軟剤の自動投入設定も解除してください。（→P13）
- ・洗いやすすぎにふる水を使用することができます。

6 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・約1分後に給水が始まります。

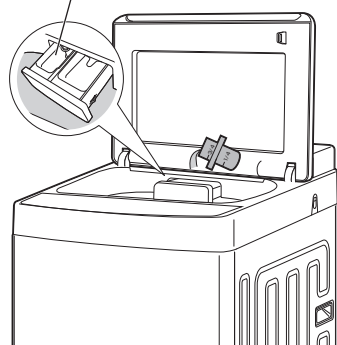


7 液体洗剤を手動投入する

- 毛布コースでは、洗濯用液体中性洗剤を手動投入してください。

- ・毛布コースの水位は**72L**で、他の設定は選べません。**72L**の水位に合わせた量の洗濯用液体中性洗剤を入れてください。

液体洗剤投入口

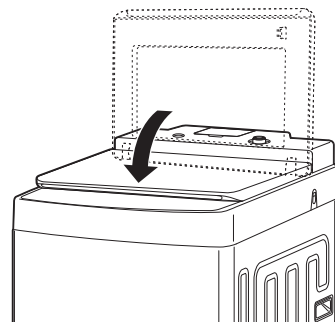


- ・柔軟剤を手動投入する場合は、14ページ「柔軟剤」の項を参考に、**72L**の水位に合わせた量を入れてください。
- ・毛布の洗濯には漂白剤は使用しないでください。



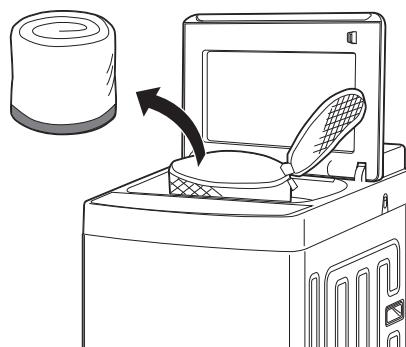
8 ふたを閉める

- ・ふたを閉めると、**ふたロックランプ**が点灯してふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・**スタート／一時停止**ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「**E2**」と「**-!**」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

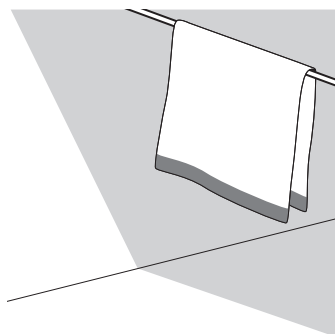


9 終了したら、洗濯ネットのファスナーを開けて、毛布を取り出す

- ・洗濯が終了して脱水が停止すると、**ふたロックランプ**が消灯してふたロックは解除されます。
- ・洗濯が終了すると、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- ・ファスナーを開けて、先に毛布だけを取り出してください。



- ・洗濯ネットを取り出した後は、水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P31)
- ・毛布などは、風通しのよい、直射日光の当たらないところで乾かしてください。



洗濯

洗い・すすぎ・脱水を別々に設定して洗濯する

洗い時間・すすぎ回数・脱水時間を個別に設定して洗濯できる他、それぞれの行程単独や組み合わせての運転も可能です。

洗いのみ

- ・ 洗い時間のみ設定し、すすぎと脱水をなしに設定してください。
給水から始まり、排水せずに停止します。(最初の給水は不足分のみ給水します。)

すすぎのみ

- ・すすぎ回数のみ設定し、洗いと脱水はなしに設定してください。
排水→脱水から始まり、排水せずに停止します。

脱水のみ

- ・脱水時間のみ設定し、洗いとすすぎをなしに設定してください。
排水から始まり、脱水が完了すると停止します。

洗い+すすぎ

- ・洗い時間とすすぎ回数を設定し、脱水はなしに設定してください。
給水から始まって、設定したすすぎが終了すると、排水せずに停止します。

洗い+脱水

- ・洗い時間と脱水時間のみ設定し、すすぎはなしに設定してください。
給水から始まって、設定した脱水が終了すると停止します。

すすぎ+脱水

- ・すすぎ回数と脱水時間のみ設定し、洗い時間はなしに設定してください。
排水→脱水から始まり、設定した脱水が終了すると停止します。

洗い+すすぎ+脱水

- ・それぞれの行程を別々に設定できます。

1 電源 切/入ボタンを押して電源を入れる

※ 必要に応じて水栓を開けてください。

2 コースを選ぶ

- ・コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯/点滅して選択されたコースを表示します。



- ・洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入設定を解除してください。(→P13)
- ※ 通常は**標準**コースを選んでください。標準以外のコースでは、洗い・すすぎ・脱水を別々に設定できないものがあります。
- ・**ドライ**、**槽洗浄**コース以外はふろ水を使用することができます。(→P25)

3 洗いの時間を選択する場合

- ① 行程ボタンを押して、洗いランプを点滅させます。

点滅 ■ 洗い



- ② 設定ボタンを押すたびに、洗いの時間を1分から20分まで1分単位で設定することができます。(標準: 15分)

※ ランプが点滅している間に選択してください。



→ 1分 ~ 20分 (標準: 15分) ←
0分消灯 (洗い行程なし) ←

- ・ 洗いの行程のみの場合は、最後に排水しません。

4 すすぎの回数を選択する場合

- ① 行程ボタンを押して、すすぎランプを点滅させます。

点滅 ■すすぎ



- ② 設定ボタンを押すたびに、すすぎの回数を1回から3回の間で設定することができます。(標準: 2回)

※ ランプが点滅している間に選択してください。



→ 1回 ~ 3回 (標準: 2回) ←
0回消灯 (すすぎ行程なし) ←

- ・ 洗いの行程がない場合は、最初に排水→脱水から始まります。
- ・ 脱水の行程がない場合は、最後に排水しません。

5 脱水の時間を選択する場合

- 行程ボタンを押して、脱水ランプを点滅させます。

点滅 ■ 脱水



- 設定ボタンを押すたびに脱水の時間を3分から14分まで1分単位で設定することができます。(標準: 11分)

※ ランプが点滅している間に選択してください。



→ 3分 ~ 14分 (標準: 11分) ←
0分 (消灯: 脱水行程なし) ←

6 必要に応じて部屋干しモードを追加する

- 部屋干しモードについては、28ページをご覧ください。

※ ランプが点滅している間に選択してください。

7 スタート／一時停止ボタンを押す

- 標準・すすぎ1回・つけおき・お急ぎコースで、洗いの行程がある場合は、パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、洗剤の量を表示し、給水が始まります。



1.0杯 ■ 72L
0.9杯 ■ 62L
0.7杯 ■ 48L
0.5杯 ■ 28L(手動)
(洗剤量)

- 洗いの行程がない場合は、最初に排水→脱水から始まります。

水位を変更するとき

- 水位を変更するときは、給水中に水位ボタンを押してください。(水位変更については、15ページをご覧ください。)



8 洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、表示にしたがって入れる

- 洗剤や柔軟剤の入れかたについては、14ページを参考にしてください。
- ※ お急ぎコースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。
- 必要に応じて漂白剤を入れてください。(→P14)

● 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。

9 ふたを閉める

- ふたを閉めると、ふたロックランプが点灯して、ふたロックがかかり、給水が始まります。
- スタート／一時停止ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「- !」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

10 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 洗濯が終了すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- 洗濯が終了すると、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。
- 洗濯物を取り出した後は、水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P31)

■用途に応じた洗濯

用途・目的	行程	洗いの設定	すすぎの設定	脱水の設定	備考
- 洗濯液を再利用する - あらかじめ洗剤を溶かす	洗いのみ	あり	なし	なし	最後に排水しません。
すすぎ水を再利用する	洗い+すすぎ	あり	あり	なし	最後に排水しないので、すすぎ水を再利用できます。再利用するときは、排水してしまわないように、洗いから始めてください。
分け洗いをする	洗い+脱水	あり	なし	あり	分け洗いした洗濯物は、この後まとめてすすぎをするので、脱水時間は短めにしてください。
すすぎをする	すすぎのみ	なし	あり	なし	最初は脱水から始まります。最初に脱水したくない場合は、洗いから始めてください。最後に排水しません。
すすぎ～脱水をする	すすぎ+脱水	なし	あり	あり	最初は脱水から始まります。最初に脱水したくない場合は、洗いから始めてください。
脱水する	脱水のみ	なし	なし	あり	排水から始まります。
排水する	排水のみ	なし	なし	あり	排水が終了したら、脱水が始まる前に電源を切ってください。

洗濯の終了時間を予約して洗濯することができます。

1 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる

2 コースを選ぶ

- ・コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。
- ※ **ドライ・槽洗淨・槽乾燥**のコースでは、予約はできません。
- ・洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入設定を解除してください。(→P13)
- ・洗いやすすぎにふる水を使用できるコースもあります。(→P25)

水位を変更するとき

- ・水位を変更するときは、給水中に**水位**ボタンを押してください。(水位変更については、15ページをご覧ください。)



3 水位ボタンと設定ボタンを同時押しして、洗濯の終了時間を設定する

- ・水位ボタンと設定ボタンを同時押しするたびに、洗濯終了時間の表示が**1～24**に変わります。**24**の次は、選択しているコースの運転時間を表示します。
- ※ **毛布コース**と**つけおきコース**は**2～24**に変わります。



4 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、洗剤の量を表示します。



1.0杯 ■ 72L
0.9杯 ■ 62L
0.7杯 ■ 48L
0.5杯 ■ 28L(手動)
(洗剤量)

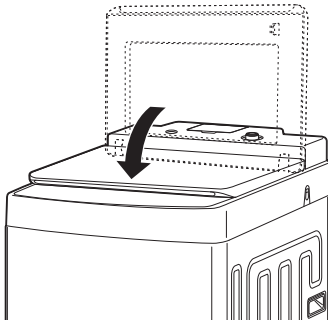
5 洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、表示にしたがって入れる

- ・洗剤・柔軟剤の入れかたについては、14ページを参考にしてください。
- ※ **お急ぎ**コースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。
- ※ 予約運転の場合は、洗剤・柔軟剤は自動投入設定されることをおすすめします。
- ※ 粉石けんは使用しないでください。溶けにくいので、衣類に洗剤が残るおそれがあります。
- ・必要に応じて、漂白剤を入れてください。(→P14)

- 洗剤は入れすぎないでください。入れすぎると泡が立ちすぎて、周囲にあふれたり、すすぎが不十分になったりします。
- 洗剤投入ケースが十分乾いていることを確認してください。ぬれていると、洗剤が固まってしまうことがあります。

6 ふたを閉める

- ふたを閉めると、設定内容が点灯し、約1分後、予約時間表示以外は消灯します。



- 水位ボタンと設定ボタンを同時に押すと、設定内容が表示され、数秒後に消灯します。
- ふたを開けると設定内容が表示され、ふたを閉じると消灯します。

予約を取り消すには

- 電源 切/入ボタンを押して、電源を切にしてください。



予約を変更するには

- 電源を切って、再度電源を入れ、設定し直してください。

運転開始時間になると

- 予約した時間に終わるように、設定された時間になると給水が始まり、洗いの行程が始まると、ふたロックランプが点灯してふたロックがかかります。ふたが閉まっていなくて洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

7 洗濯が終了したら洗濯物を取り出す

- 洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- 洗濯が終了すると、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- 水栓を閉じ、糸くずフィルターを外して掃除してください。(→P31)
- 洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

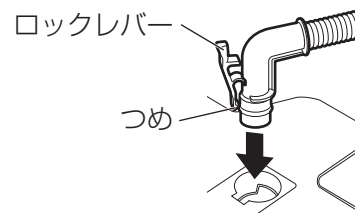
※ 予約時間と実際の終了時間は、給水や排水などの条件により多少異なります。

ふろの残り湯を使用して洗濯することができます。

洗い・すすぎにふろ水利用ができるコース	標準、毛布、つけおき
洗いのみふろ水が利用できるコース	すすぎ1回、お急ぎ
ふろ水利用ができないコース	ドライ、槽洗浄、槽乾燥

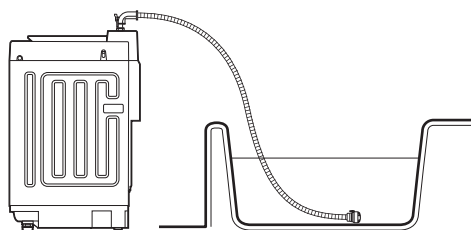
- ふろ水は40℃以下で使用してください。
- 硫黄成分（入浴剤などに入っていることがあります）の入ったふろ水は使用しないでください。洗濯・脱水槽を傷める可能性があります。
- 入浴剤や浴室用洗剤が入ったふろ水は、洗濯・脱水槽を傷めたり、衣類に色が付いたりする可能性があります。入浴剤や浴室用洗剤の注意書きをよくご覧ください。
- 発泡・ゼリー・とろみ成分のある入浴剤が入ったふろ水は、吸水できなかったり、吸水口のフィルターのつまりの原因になります。また、衣類が汚損するおそれがあります。

1 ふろ水ホースの給水継手を接続する



- ロックレバーのつめが確実にかかっていることを確認してください。しっかり接続されていないと、ふろ水ホースが抜け、ふろ水を吸い上げることができません。

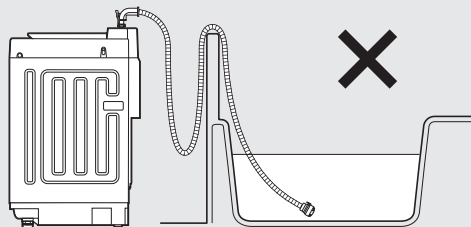
2 ふろ水ホースを伸ばして吸水口を浴槽に沈める



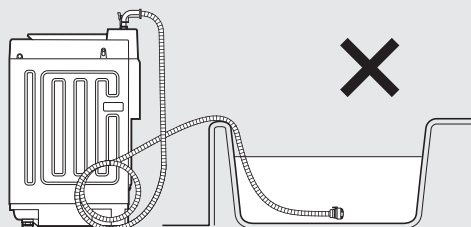
- ・ 吸水口が水上に露出すると、ふろ水を吸い上げることができません。
吸水口が完全に水に沈むようにしてください。
吸水口が浮き上がらないようにしてください。
(ホースをたるませると、引っ張られます。)

ふろ水ホースを使用するときの注意

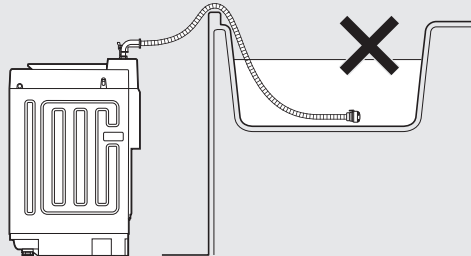
- 高い壁を越えるときは、ホースをたるませない



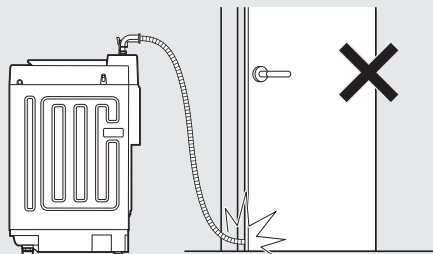
- 巻いたまま使用しない



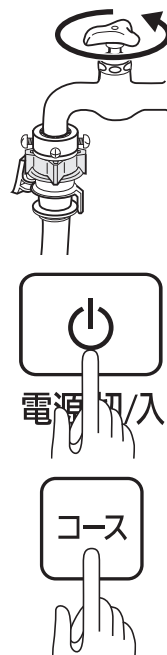
- 本体よりふろ水の水位が高いところから吸水しない



- ふろ水ホースを、ドアにはさんだり、無理に引っ張ったり、踏んづけたりしない



3 水栓を開け、電源を入れて、コースを選ぶ



- ・ 15ページを参照して希望のコースを選んでください。
- ※ ふろ水を使用する場合でも、水栓は必ず開けてください。
- ※ **ドライ・槽洗浄・槽乾燥**コースではふろ水は使用できません。
- ※ 洗剤・柔軟剤を手動投入する場合は、自動投入設定を解除してください。(→P13)

4 ふろ水ボタンで、ふろ水のコースを選ぶ



点灯 ■ 洗い	洗いのみ、ふろ水を使用します。
点灯 ■ すすぎ1回	洗いと1回目のすすぎのみ、ふろ水を使用します。
消灯	ふろ水は使用しません。

5 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、洗剤の量を表示します。

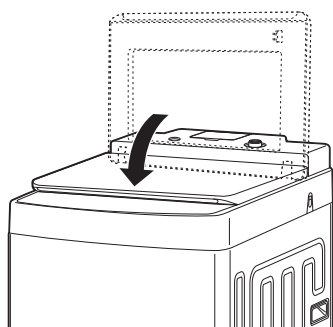


1.0杯 ■ 72L
0.9杯 ■ 62L
0.7杯 ■ 48L
0.5杯 ■ 28L(手動)
(洗剂量)

6 洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、表示にしたがって入れる

- ・洗剤・柔軟剤の入れかたについては、14ページを参考にしてください。
- ※ **お急ぎ**コースで洗濯するときは、洗剤の量を半分にしてください。
- ・必要に応じて、漂白剤を入れてください。(→P14)

7 ふたを閉める



- ・水位を変更するときは、給水中に**水位**ボタンを押してください。(水位変更については、15ページをご覧ください。)
- ・ふたを閉めると、**ふたロックランプ**が点灯して、ふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・**スタート／一時停止**ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「[-!」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

- **スタート／一時停止**ボタンを押した後は、ふろ水のコース変更はできません。一旦洗濯を停止して、再度やり直してください。
- 運転開始後でも、ふろ水利用を停止することはできます。**ふろ水**ボタンを押してください。ふろ水ポンプの運転が止まり、水道水に切り替わります。
- ふろ水利用中にふろ水がなくなったときは、水道水に切り替わります。

呼び水について

- 運転を開始すると、ふろ水を吸水するために、呼び水として水道水が給水されることがあります。特に、最初に使用するとき、長期間使用しなかったときは、多めに呼び水が給水されます。
- 洗濯の水位が低い場合、ふろ水を給水する前に、呼び水だけで給水が終了してしまうことがあります。
- 呼び水を数回行ってもふろ水を吸水することができないときは、水道水の給水に切り替わります。

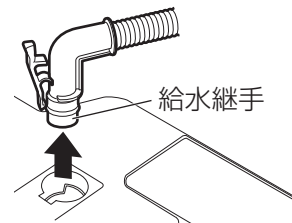
- 初めて使用するとき、水道水の水圧が低い場合など、風呂水タンクに呼び水を給水できず、風呂水を吸い上げないことがあります。
風呂水を吸い上げない場合は、いったん風呂水ホースの給水継手を外し、本体のふろ水吸水口に直接水を注いで、満水にしてから使用してみてください。

8 洗濯が終了したら、洗濯物を取り出し、水栓を閉じる

- ・洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

ふろ水ホースの片付け

洗濯が終了したら、ふろ水ホースの給水継手を洗濯機から外し、ホースの中の水を抜いてください。



チャイルドロックモード

洗濯しているときに、幼児が誤って洗濯・脱水槽に落ちないように、チャイルドロックモードを入にすることができます。

チャイルドロックモードを入にすると、解除するまでふたロックが自動でかかります。

■チャイルドロックモードを入／切するには

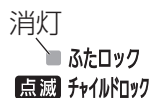
- 電源が入っているときに、**洗剤**ボタンと**柔軟剤**ボタンを同時に3秒間押すと、チャイルドロックモードの入／切を切り替えることができます。



- チャイルドロックモードが入になると、ふたロックランプが点滅し、ふたロックがかかります。



- チャイルドロックモードを切にすると、ふたロックランプは消灯します。



- 洗濯が終了し電源が切れ、再度電源を入れてもチャイルドロックモードは設定されたままです。

部屋干しモード

部屋干しモードは、洗濯・脱水槽の回転で、湿った空気を排出し、洗濯物の水分を飛ばします。

※ 部屋干しモードは温風乾燥ではありません。完全には乾かず、風で乾燥させるため、部屋干しモード使用後の洗濯物は冷たく感じる場合があります。

※ 洗濯物の量が多いと、しわが付きやすくなります。しわの取れにくい衣類は部屋干しモードを使用しないでください。

※ フリースなどの軽い衣類は、槽外へ飛び出すことがあります。故障・破損の原因になるので、注意して扱ってください。

- 1 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



- 2 コースを選ぶ

- コースボタンを押すたびに、各ランプが点灯／点滅して選択されたコースを表示します。



※ 部屋干しモードが使用できるのは、標準・すすぎ1回コースのみです。

※ 洗いとすすぎなしの部屋干しモードだけの運転もできます。標準コースを選んで、洗いとすすぎをなしに設定してください。

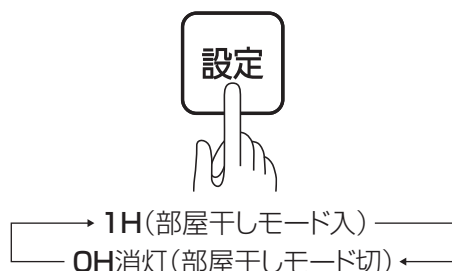
- 3 行程ボタンを押して部屋干しを選ぶ

- 行程ボタンを押して部屋干しランプを点滅させます。

点滅 ■ 部屋干し



- ・設定ボタンを押すと、部屋干しモードの入／切を選択することができます。



- ・部屋干しを選んだときは、脱水時間の設定も行ってください。脱水時間が0分の場合、部屋干しは設定できません。

4 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・パルセーターが回り、洗濯物の量を検知して、洗剤の量を表示します。

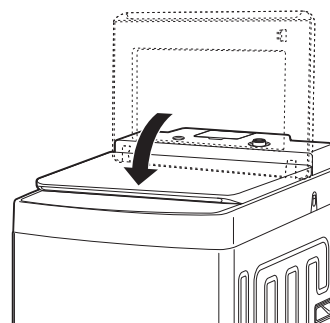


1.0杯 ■ 72L
0.9杯 ■ 62L
0.7杯 ■ 48L
0.5杯 ■ 28L (手動)
(洗剤量)

5 洗剤や柔軟剤を手動投入する場合は、表示にしたがって入れる

- ・洗剤・柔軟剤の入れかたについては、14ページを参考にしてください。
- ・必要に応じて、漂白剤を入れてください。(→P14)

6 ふたを閉める



- ・水位を変更するときは、給水中に水位ボタンを押してください。(水位変更については、15ページをご覧ください。)
- ・ふたを閉めると、ふたロックランプが点灯して、ふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・スタート／一時停止ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「[-!」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

※ 所要時間の合計が99分を超えると残時間は2H (2時間)、3H (3時間) と表示されます。98分以下になると、通常通り分単位で表示されます。

- ・脱水の終了後、約60分、部屋干しモード運転します。

7 部屋干しモード運転が終了したら、洗濯物を取り出す

- ・洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- ・洗濯が終了すると、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- ・水栓を閉じ、糸くずフィルターを掃除してください。(→P31)
- ・洗濯物はしわにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。

お手入れ

- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤などは使用しないでください。

■洗濯・脱水槽（槽洗浄）



- 塩素系漂白剤は、酸性のものや液体と絶対に混ぜないでください。
- 塩素系漂白剤が洗濯・脱水槽に付着しないように、必ず給水しているときに使用してください。
- 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。

洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、槽洗浄を行ってください。

槽洗浄用クリーナーについて

- ・槽洗浄には市販の塩素系漂白剤を使用してください。
- ・汚れがひどいときは、市販の槽洗浄用クリーナー（塩素系）を使用してください。
- ・塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの分量については、塩素系漂白剤・槽洗浄用クリーナーの表示にしたがってください。
塩素系漂白剤は、表示がない場合は、約300mL使用してください。

1 水栓を開け、電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



2 コースボタンで槽洗浄を選ぶ

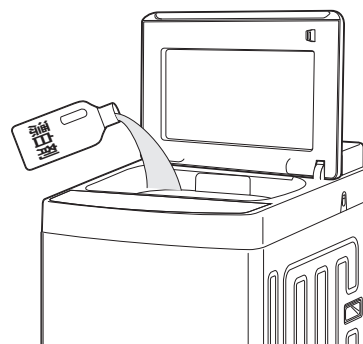
※ 槽洗浄コースでは、自動的に決まった内容に設定され、水位・行程のランプは消灯し、変更できません。

点滅
槽洗浄



- ・槽洗浄コースではふる水是使用できません。

3 塩素系漂白剤または槽洗浄用クリーナーを洗濯・脱水槽に直接入れる

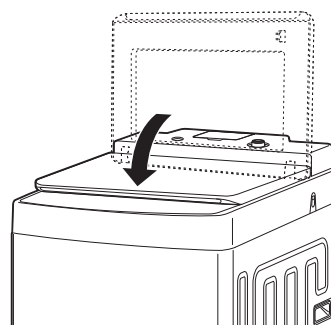


4 スタート／一時停止ボタンを押す



- ・水位72L、つけ置き+洗いで25分、すすぎ1回、脱水8分で洗浄を行います。

5 ふたを閉める



- ・ふたを閉めると、ふたロックランプが点灯して、ふたロックがかかり、給水が始まります。
- ・スタート／一時停止ボタンを押した後、約1分経ってもふたが閉まっていないと、「[?]」と「[-!」が交互に表示され、ブザーが鳴って洗濯は一時停止します。その場合は、ふたを閉じれば運転を再開します。

6 槽洗浄が終了し脱水が止まったら、ふたを開け、糸くずフィルターをお手入れする

- ・洗濯が終了して脱水が停止すると、ふたロックランプが消灯してふたロックは解除されます。
- ・終了すると、「ピーッ」と6回鳴ってお知らせします。
- ※ 糸くずフィルターに、洗剤かすなどのごみがたまります。そのままにしておくと、洗濯物にごみが付くことがあるので、必ずお手入れしてください。
- ※ 水栓を閉じてください。

■洗濯・脱水槽（槽乾燥）

洗濯終了後に槽乾燥をすると、かびの発生をおさえることができます。

1 電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



2 コースボタンで槽乾燥を選ぶ

※ 槽洗浄コースでは、自動的に決まった内容に設定され、水位・行程のランプは消灯し、変更できません。

点滅
槽乾燥



3 スタート／一時停止ボタンを押す

- ・洗濯・脱水槽とパルセーターが高速で回転し、洗濯・脱水槽を乾燥させます。
- ・終了すると、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。

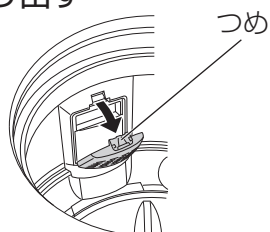


※ 黒かびや洗剤かすは槽乾燥では取り除けません。槽洗浄を行ってください。

■糸くずフィルター

洗濯後、毎回お手入れしてください。目詰まりすると糸くずが取れにくくなります。

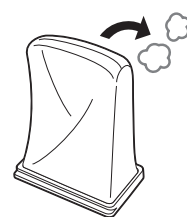
1 糸くずフィルターのつめを押し下げて、手前に引いて取り出す



2 糸くずフィルターを押し広げ、糸くずネットを取り外す

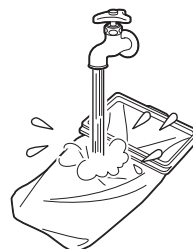


3 糸くずネットを裏返して、たまったくずを捨てる



※ 糸くずのたまる量は衣類によって異なります。糸くずがたまっていなくても、衣類に汚れが付着していなければ問題ありません。

4 水洗いする



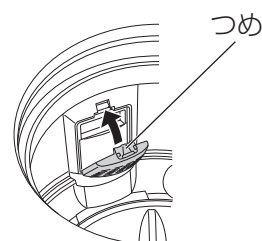
5 糸くずネットを取り付ける

- ・糸くずネットの片側を糸くずフィルターのつめに引っ掛け、上側のつめにはまるように、もう片方をパチンととめてください。



6 糸くずフィルターを元どおり取り付ける

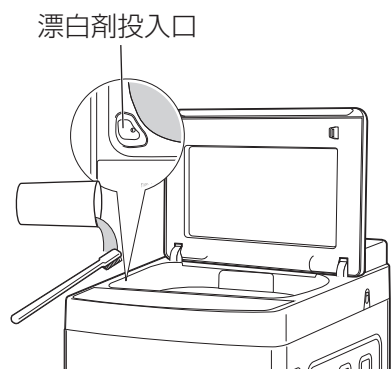
- ・糸くずフィルター下端を差し込み、上部をカチッとなるまで押し込んでください。



■漂白剤投入口

汚れているときはお手入れしてください。

不要な歯ブラシなどでこすりながら、水をかけて流す

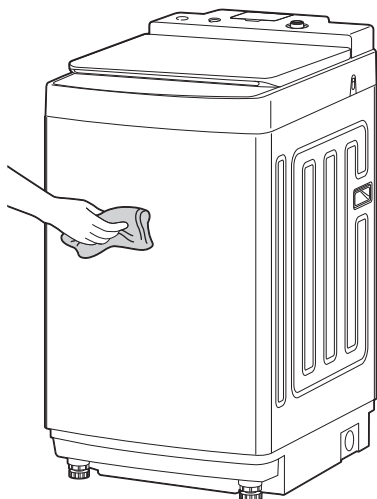


■本体外側

洗剤が付いたり、汚れているときはお手入れしてください。

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよくしぼって、汚れを拭き取る

※ 汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固くしぼった布などで洗剤分を拭き取ってください。



■液体洗剤・柔軟剤自動投入口

3か月に1程度お手入れをしてください。

また、次の場合にもお手入れをしてください。

- ・使用する液体洗剤や柔軟剤を変更するとき
- ・1か月以上、自動投入を使用しなかったとき
- ・補充ランプが点灯したまま、1週間以上自動投入タンクに洗剤や柔軟剤を補充しなかったとき
- ・洗剤自動投入口ふたを開けたまま放置したとき
- ・使用中の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になるなど、変質したとき

1 水栓（蛇口）を開ける

- ・衣服は入れないでください。

2 洗剤自動投入口のふたを開け、自動投入口から各タンク内にぬるま湯（40℃以下）を入れる

- ・ぬるま湯の投入量は、1L以下にしてください。

3 お手入れ運転を行う

- ①電源 切／入ボタンを押して電源を入れる



- ②電源を入れて5秒以内に洗剤ボタン・柔軟剤ボタン・コースボタンを同時押しする



- ・時間表示部に「AA」と表示されます。



③お手入れ運転を開始する

液体洗剤自動投入口の場合

- **行程** ボタンを押すと、時間表示部に「**P3**」と表示され、液体洗剤自動投入口のお手入れ運転を開始します。



- お手入れ運転終了後、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- ※お手入れが完了すると、「**RR**」と表示されます。

柔軟剤自動投入口の場合

- **洗剤** ボタンを押すと、時間表示部に「**P4**」と表示され、柔軟剤自動投入口のお手入れ運転を開始します。



- お手入れ運転終了後、「ピー♪」と6回鳴ってお知らせします。
- ※お手入れが完了すると、「**RR**」と表示されます。

4 水栓（蛇口）を閉じて、電源を切る

5 残水処理を行う

- ①洗剤・柔軟剤をそれぞれ100mL入れる。
- ②12ページ「初めて使用するとき」の2～5を行う。

6 洗濯・脱水槽に残った水を排出する

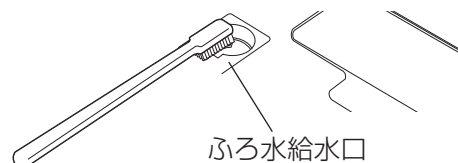
- 脱水のみを3分間運転してください。（→P21）

■ ふろ水ホース

ふろ水ホースの吸水口や、給水口の接続部にゴミがたまると、吸水できなくなります。定期的にお手入れしてください。

ふろ水給水口

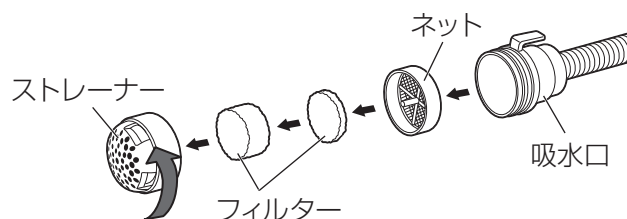
- ふろ水ホースの給水ナットを外し、不要な歯ブラシなどを使用して、ゴミを取り除いてください。



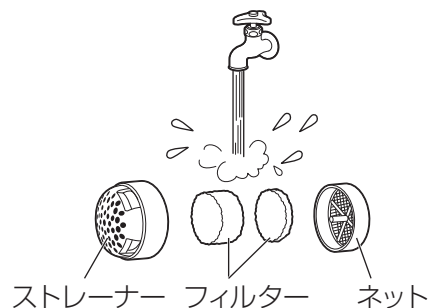
ふろ水ホース

※周囲をぬらさないように、浴槽の中などでお手入れしてください。

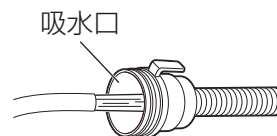
- ①ストレーナーを回して外し、フィルターを取り出す



- ②ストレーナーとフィルターとネットは水洗いする



- ③吸水口から、水道水を強めに流し入れ、内部のゴミを洗い流す



※ホースの破れなどによる水もれがないかどうか確認してください。

水もれがあった場合は、アイリスコールにご相談ください。

- ④水気を拭き取り、元どおり組み立てる

コース一覧

コース	ランプ	水位	つけおき	洗い	すすぎ	脱水	部屋干しモード	ふろ水使用		所要時間
								洗い	すすぎ	
標準	点灯 標準 ■	28 ~ 72L	-	10分	2回	11分	60分※ ¹	使用可	1回 使用可	52分※ ²
すすぎ1回	点灯 すすぎ1回 ■	28 ~ 72L	-	10分	1回	12分	60分※ ¹	使用可	-	45分※ ²
毛布	点灯 毛布 ■	72L	20分	20分	3回	12分	-	使用可	1回 使用可	102分
ドライ	点灯 ドライ ■	62L	-	10分	2回	8分	-	-	-	43分
つけおき	点滅 ☀️ つけおき	28 ~ 72L	30分	10分	3回	12分	-	使用可	1回 使用可	102分
お急ぎ	点滅 ☀️ お急ぎ	28 ~ 72L	-	5分	1回	5分	-	使用可	-	33分
槽洗浄	点滅 ☀️ 槽洗浄	72L ※ ³	20分 ※ ³	5分 ※ ³	1回 ※ ³	8分 ※ ³	-	-	-	71分
槽乾燥	点滅 ☀️ 槽乾燥	-	-	-	-	15分 ※ ³	-	-	-	18分

※ 洗い・脱水の時間、所要時間は目安です。

※ 洗い・すすぎ・脱水の時間は、それぞれのコースの標準設定です。洗い・すすぎ・脱水のボタンで変更できます。（コースによっては変更できないものもあります。）

※ 水位の28Lは、水位ボタンで選んだときのみ設定できます。

※ つけおき中は、時々パルセーターが回転します。

※ 所要時間は、給水（15L / 分で計算）・排水の時間が含まれます。

※ 部屋干しモードは行程ボタンで部屋干しを選んだときのみ運転します。

※¹ 部屋干しモードを選んだ場合

※² 所要時間は部屋干しモードの時間を含みません。

※³ 槽洗浄・槽乾燥コースでは、自動的に決まった内容に設定され、水位・行程のランプは消灯し、変更できません。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯が スタートしない	●電源が入っていない	●電源 切／入ボタンを押して電源を入れてください。
	●ふたがきちんと閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたの下に異物がはさまっていないか確認してください。
	●タイマー予約洗濯になっている	●すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度電源を入れて、洗濯してください。
電源が入らない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	●電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
水もれする	●給水ホースが水栓と確実に接続されていない	●給水ホースを水栓と確実に接続してください。 (→据付説明書)
	●給水ホースのコネクターと水栓が合っていない	●給水ホースのコネクターと水栓の形状が合っていないときは、ホースに付属している継手を水栓に取り付けてください。(→据付説明書)
	●給水ホース付属のホース継手が確実に水栓に取り付けられていない	●給水ホース付属のホース継手は、水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりねじを締めてください。(→据付説明書)
	●排水口がつまっている	●洗濯機を取り外し、排水口を掃除してから、再度洗濯機を設置し直してください。(→据付説明書)
	●排水ホースが排水口から外れている	●洗濯機を取り外し、排水ホースを排水口に確実に接続してください。
初めて使用したときに、 排水ホースから水が出た	●出荷時の性能テストの水が残っていた	●異常ではありません。安心してご使用ください。
排水中に ゴボゴボという音がする	●排水が空気と混ざる音がある	●異常ではありません。
給水されない	●すすぎから始まる運転を選んだときは、最初に排水・脱水する	●最初に給水する必要があるときは、洗いから始めるように設定してください。(→P21)

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯の途中で 給水される	●洗濯中に水位が下がると、自動的に不足分を給水する	●故障ではありません。
	●すすぎ中は、給水しながら運転する	●すすぎ時は最初は少なめの水位で、給水しながら運転します。故障ではありません。
脱水の途中で 給水される	●洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正する	●異常ではありません。給水後再び脱水になります。片寄りが修正しきれないときは、ブザーが鳴って停止します。
ブザーが鳴って、 脱水が途中で 停止する	●洗濯物が片寄っていて脱水できない	●洗濯物の片寄りを検知すると、一時停止して、給水して片寄りを修正しますが、修正しきれないときは停止します。ふたを開け、洗濯物の片寄りを手で直してください。(必ず、脱水が完全に停止してから行ってください。)
洗濯物の量に 水位が 合っていない	●軽い衣料、水にぬれて重くなった衣料などを洗濯した	●洗濯の水位は最初のパルセーターの回転で検知します。軽い衣料や水にぬれて重くなった衣料などを洗濯するときは、 水位 ボタンで水位を変更してください。(→P15)
音が大きい 振動する	●電源コード・給水ホース・排水ホースなどが、洗濯機本体に当たっている	●電源コード・給水ホース・排水ホース、または本体の位置を調整して当たらないようにしてください。
	●金属の小物などと一緒に洗濯している	●金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。
	●ファスナーやボタンなどが洗濯・脱水槽の内側に当たっている	●ファスナーやボタンは閉じて洗濯してください。 ●ファスナーやボタンなどがおもて側に出ている衣類は、裏返しにして洗濯してください。
	●設置が悪く、がたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
	●洗濯物が片寄っている	●洗濯物が片寄っていると、脱水時振動が大きくなります。 スタート／一時停止 ボタンを押して一時停止させ、ふたを開けて洗濯物の片寄りを直してください。
ふろ水が 給水されない	●水栓が閉まっているので、呼び水を給水できない	●呼び水を給水するために、水栓は開けてください。
	●ふろ水ホースが破損している	●ふろ水ホースを新しいものに交換してください。ふろ水ホースについては、アイリスコールへご相談ください。

状 態	考えられる理由	処 置
ふろ水使用に 設定しているのに、 水道水が 給水される	● 運転開始直後は、呼び水（水道水）が給水される	● 水位の設定（自動で検知された場合も含む）が低いと、呼び水の給水だけで終わってしまうことがあります。
	● ふろ水ホースがたるんでいて吸水できないので、水道水に切り替わった	● ふろ水ホースがたるんでいると、水位の高低差のために、ふろ水を吸水できないことがあります。ふろ水ホースをたるませないようにしてください。
	● ふろ水ホースの吸水口がつまっているので、水道水に切り替わった	● 吸水口を分解して、吸水口とフィルターを洗ってください。
	● ふろ水に、発泡・ゼリー・とろみ成分のある入浴剤が入っているので、吸水できず、水道水に切り替わった	● 発泡・ゼリー・とろみ成分のある入浴剤が入ったふろ水は使わないでください。
	● ふろ水ホースの吸水口が浮いているので吸水できず、水道水に切り替わった	● 吸水口が水面より下に沈むようにしてください。
	● ふろ水がなくなった	● ふろ水がなくなると、自動的に水道水に切り替わります。
	● 初めて使用した（水道水の水压が低くて、呼び水が給水されない）	● 初めて使用するときには、水道水の水压が低い場合など、風呂水タンクに呼び水を給水できず、風呂水を吸い上げないことがあります。風呂水を吸い上げない場合は、いったん風呂水ホースの給水継手を外し、本体のふろ水吸水口に直接水を注いで、満水にしてから使用してください。
洗濯物に ごみが付く	● 洗濯・脱水槽が汚れている（洗剤かす・かびなど）	● 槽洗浄を行ってください。槽洗浄した後は、糸くずフィルターをお手入れしてください。（→P31）
洗濯物に 糸くずが付く	● 前回の洗濯物の糸くずがたまっていた	● 洗濯後毎回糸くずフィルターをお手入れしてください。（→P31）
	● 色の濃い衣料などは糸くずが目立つ	● 市販の糸くず防止用洗濯ネットを使用してください。
洗濯物に しみが付く	● 柔軟剤が部分的に付いて、しみになることがある	● 柔軟剤を手動投入する場合は、最終すすぎの段階で投入してください。（→P14）

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物に洗剤が付く	● 水温が低いと洗剤が溶けにくい	● 水温が低いときは、ふろの残り湯を使用するなどしてください。
	● 洗濯物が軽かったり、分厚かったりすると、水に浮いて、洗剤が残りやすくなる	● 軽いものや分厚いものは、下の方に沈めて洗濯してください。
	● 粉石けんを使用している	● 粉石けんは溶けにくいことがあります。別な容器に30℃くらいのぬるま湯を用意し、溶かしてから使用してください。(→P14)
洗濯物が黄ばむ	● 断水などの後、鉄さびなどでにごった水を使用した	● 断水などの後は、水がきれいになるのを待って使用してください。 ● 白い洗濯物が黄ばんでしまったときは、市販の還元型漂白剤を使用してください。(色物・柄物には使用できません。)
洗濯物が傷む・毛羽立つ	● デリケートな洗濯物を標準コースで洗っている	● デリケートな洗濯物は、洗濯ネットに入れる・ドライコースで洗濯するなどしてください。 ● 毛羽立ちやすい洗濯物は裏返して洗濯するなどしてください。
色移りする	● 色落ちしやすいものを一緒に洗濯している	● 色落ちしやすいものは、色別にして洗濯してください。
洗濯物がごわごわする	● パイル地のタオルなどは、パイルが寝て、ごわつく	● 柔軟剤を使用してください。
汚れが落ちにくい	● 洗濯物を入れすぎている	● 洗濯物の量を適正に減らしてください。
	● 洗剤が少ない	● 手動投入の場合、洗剤は、洗剤量のランプや、洗剤のパッケージの表記にしたがって、適正な量を入れてください。 ● 自動投入の場合は、投入量を「多い」にしてください。
	● 洗濯物の汚れが激しい	● 汚れの激しい洗濯物は、つけおきコースで洗ったり、洗いボタンで洗いの時間を長くしたりして洗濯してください。
	● 落ちにくい汚れが付いている	● 泥や食べこぼしなど、落ちにくい汚れは、拭き取るなどの前処理をしてください。
部屋干しモード運転したのに乾きが悪い	● 部屋干しモードは温風を使用しないため、室温や湿度によって乾きに差が出る	● 乾きが足りないときは、洗いとすすぎをなしにして、脱水+部屋干しモードだけの追加運転をしてください。

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯物がにおう	●洗濯・脱水槽が汚れている（かびなど）	●槽洗浄を行ってください。（→P30）
	●洗濯物を生乾きのまま放置した	●洗濯物は、洗濯終了後できるだけ早く取り出し、適正な方法で乾かしてください。
	●においの付いたふろの残り湯などを使用した	●においのする入浴剤が入っていたり、残り湯が古くなってにおいが付いたりした場合は、使用しないでください。
洗剤・柔軟剤が自動投入されない	●自動投入機構内部に、洗剤・柔軟剤が充填されていない	●「初めて使用するとき」をご覧ください。洗剤・柔軟剤を充填してください。（→P12）
	●自動投入設定が解除されている	●洗剤ランプ・柔軟剤ランプが点灯しているか確認してください。消灯している場合は自動投入設定が解除になっています。洗剤ボタン・柔軟剤ボタンを押してランプを点灯させてください。（→P13）
	●タンク内の液体洗剤・柔軟剤が空になっている	●補充ランプが点灯している場合、タンク内が空になっています。液体洗剤・柔軟剤を補充してください。
	●タンク内で液体洗剤・柔軟剤が変質している	●自動洗剤投入口のふたを開けたままにしたり、粘性の高いもの、固まったものや分離したものを使用した場合、タンク内に変質したものが残っている場合があります。お手入れをしてください。（→P32）
	●自動投入経路が詰まっている	●お手入れ運転をしてください。（→P32）
洗濯が止まる エラー表示：[!]	●排水ホースが正しく取り付けられていない	●排水ホースの取り付け状態を確認してください。確認後、ふたを開閉して、再度スタート／一時停止ボタンを押してください。
	●排水ホースがつまっている	●排水ホースを点検して、つまっているものを取り除いてください。取り除ききれないときは、アイリスコールへご相談ください。
	●住宅の排水経路がつまっている	●洗濯機をどけ、排水ホースを外して、排水口を掃除してください。 ●排水口の掃除だけで不十分な場合は、水道業者に排水経路の修理を依頼してください。

故障かな？と思ったら つづき

状 態	考えられる理由	処 置
洗濯が止まる エラー表示： [2 -1]	●ふたが閉まっていない	●ふたをきちんと閉めてください。 ●ふたに異物がはさまっていたら、取り除いてください。
洗濯が止まる エラー表示： [2 -3]	●ふたロックがかからない	●ふたロック部に異物がはさまっている場合は、取り除いてください。 ●ふたがきちんと閉まっていない場合は閉めてください。
洗濯が止まる エラー表示：[3]	●洗濯物が片寄っていて脱水ができない	●ふたを開け、洗濯物の片寄りを直してください。
	●洗濯物の量が多い ●洗濯ネットに大量の洗濯物を詰め込んで洗濯している ●大きな洗濯物を洗濯している	●洗濯物の量を減らしてください。 ●洗濯ネットに入れる洗濯物は小分けにしてください。 ●大きな洗濯物は 毛布 コースで、記載を守って洗ってください。(→P19)
	●洗濯ネットに入れた洗濯物が洗濯物の上の方にあるので、動作が不安定になる	●洗濯ネットに入れた洗濯物は洗濯物の下の方に入れ直してください。
	●設置が悪くがたついている	●水平で安定した場所に据え付けし直してください。
洗濯が止まる エラー表示：[5]	●水栓が開けられていない	●水栓を開いてください。
	●水道が凍結したり断水したりしている	●水道が復旧するまで使用を停止してください。
	●給水口にごみがつまっている	●アイリスコールへご相談ください。
洗濯が止まる エラー表示： E1 E2 E3 E4 E5 E6 E7 E8 F2 F5 E9-2 E9-5	●故障している	●電源を切り、電源プラグを抜いて、アイリスコールへご連絡ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●自分で分解・修理・改造しないでください。

仕様

種類	全自動電気洗濯機
定格電圧	AC100V
定格電源周波数	50 / 60Hz
定格消費電力	420W
標準洗濯容量	10.0kg
標準脱水容量	10.0kg
標準使用水量	125L
標準水量	72L
保護等級	IPX4
外形寸法	幅586×奥行647×高さ1003mm
質量	42kg

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】

【設計上の標準使用期間】

■設計上の標準使用期間

- 標準的な使用条件にもとづく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

標準的な使用条件（JIS基準に基づく）

環境条件	電圧	AC100V
	周波数	50 / 60Hz
	温度	20℃
	湿度	65%
負荷条件	負荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧	0.03 ~ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20±15℃
想定時間	1日の平均使用回数	1.5回
	1回の使用時間	標準コースの時間
	1年間の使用日数	365日
	1年間の使用回数	1.5回×365日=547.5回／年



注意

製品の劣化や故障は様々な要因に影響されます。上記の標準的な使用期間に満たない場合でも、異常が見られたときには、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。

※ 標準的な使用条件を超えて使用した場合に、標準使用期間よりも短い期間で経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間であっても、一般家庭用以外に使用された場合は有料修理になります。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■電源コードが破損した場合

直ちに使用を中止し、アイリスコールにご連絡ください。電源コードの交換は事故等防止のため、メーカーおよび代理店、または同等の有資格者によって行わなければならないと法律により定められています。

愛情点検



長年ご使用の洗濯機の点検を！

こんな症状は
ありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとビリビリ電気を感じる
- 運転中に異常な振動がある
- 洗濯・脱水槽がなかなか止まらない
- 電源を入れても動かないことがある
- 本体やホースから水もれする
- 洗濯機がガタつく

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、水栓を閉めて、必ず販売店に点検を依頼してください。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

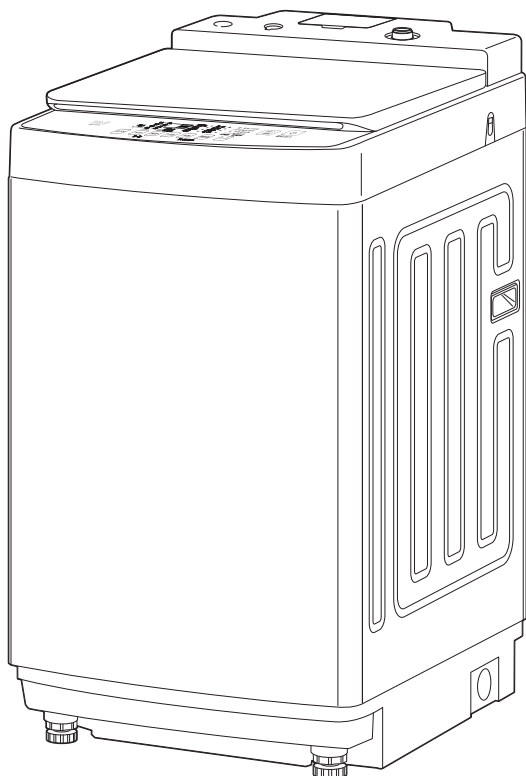
アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・
ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス





全自動洗濯機

KAW-100B

据 付 説 明 書

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

もくじ

本体運搬時の注意.....	1
安全上の注意	2
付属品の確認	3
据え付け関連部品.....	4
据え付け	5

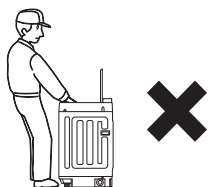
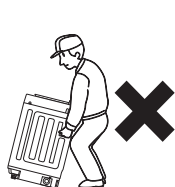
お客様へ

- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本体運搬時の注意

- 本体にひざを当てて運ばないでください。
- 衣類投入口を持って運ばないでください。
破損・変形のおそれがあります。

- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷つけたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードをたばねて使用しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。

- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。

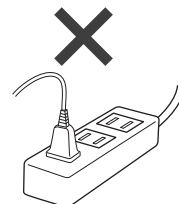
- 電源コードを傷つけない

- 電源コードを引っ張らない

傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない

過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



水ぬれ禁止

- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを必ず接続

- アースを必ず取り付ける
故障したり漏電したりしたときに、感電のおそれがあります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

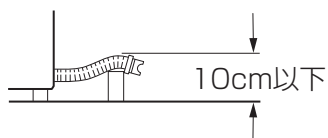


注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以内にする
- 据え付け後や移設後は、水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もれがあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースをたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水栓は確実に接続する
- 洗濯前は、水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水栓のナットなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



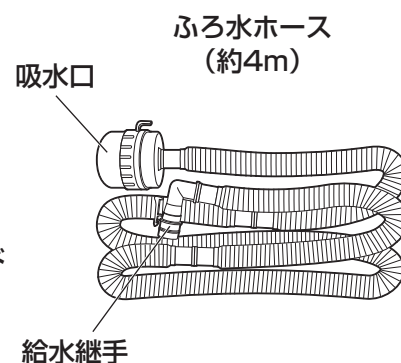
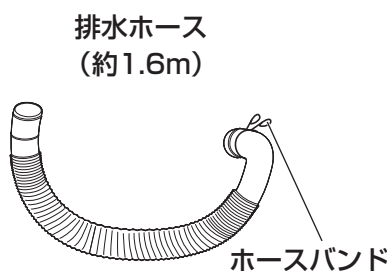
- 給水ホースは、ストッパー付き洗濯機用ニップルの付いた水栓に接続する
- ニップル付き水栓でない場合は、必ず付属の継手を取り付けて接続する
水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けしないでください。



- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

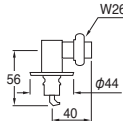
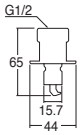
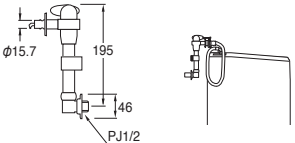
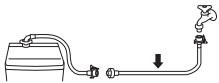
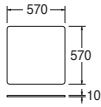
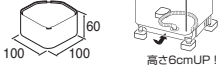
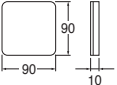
付属品の確認

最初に、付属品がそろっていることを確認してください。
万一足りないものがある場合は、アイリスコールへご連絡ください。



据え付け関連部品

据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下のSANEI 株式会社のを推奨します。(当社確認済み)

部品名	品番	形状	備考
洗濯機用 L型ニップル	PY124-41TVX-16		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ 曲げ角度90° ・ 材質：青銅
洗濯機用 ニップル	PT3320		・ 万一ホースが外れた場合、瞬時に給水を自動停止 ・ カップリング水栓用 ・ 材質：黄銅
ミニセラ 洗濯機用水栓	PY1735TV-13		・ 配管が洗濯機より低い場合に使用します。 ・ オートストッパー付き
自動洗濯機 給水延長ホース	PT17-2-1		・ 全自動洗濯機用ホースの延長用 ・ 長さ：1m ・ 材質：塩化ビニル樹脂、ポリアセタール
洗濯機 排水ホース	PH64-861T-1.5		・ 洗濯機排水ホースの延長用 ・ 長さ：1.5m ・ ホース内径：30mm
洗濯機用 トレイ（全自動用）	PH545-570		・ 材質：ポリスチレン
洗濯機用 防振かさ上げ台	PH54130S		・ 洗濯機の下に敷くことで、洗濯機の位置が6cmアップします。 ・ 洗濯機の振動を抑えます。 ・ 耐荷重：150kg（4個使用時） ・ 材質：ポリプロピレン
防振パッド	PW75		・ 洗濯機の下に敷いて振動を抑え、ずれを防ぎます。 ・ 材質：ウレタンフォーム、EVA樹脂

※ 仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け

1 据え付け場所を確認する



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けしないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けしないでください。



- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けしないでください。
- 高いところに据え付けしないでください。
- 確実に排水できる場所に据え付けてください。

- 安定した水平な床に据え付けてください。
- 次のような場所には据え付けしないでください。
 - ・ 冬季に凍結するおそれのある場所
 - ・ 直射日光の当たる場所
 - ・ 暖房など発熱器具の近く
 - ・ 有機溶剤を扱う場所
 - ・ 強度のない床
 - ・ タイルなど滑りやすい床
 - ・ ブロック・角材・れんがの上など、不安定な場所

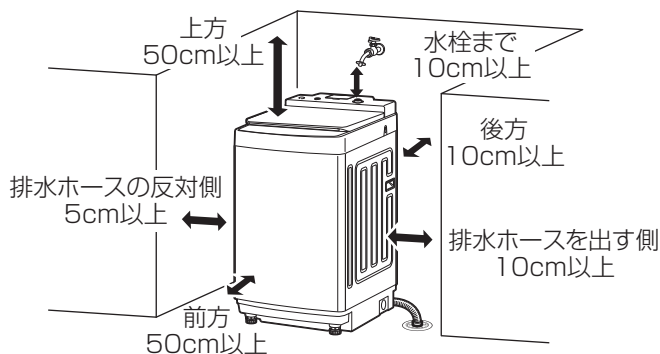
給水圧の確認

- ・ 接続する水栓の水圧が、以下の範囲になっているか確認してください。
最大許容水圧：0.8MPa
最小許容水圧：0.1MPa

据え付けに必要な寸法の確認

壁から図に示す距離を空ける

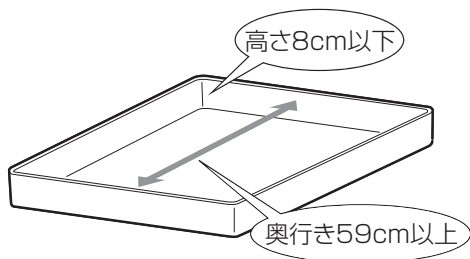
※ せまい場所に設置すると、接触による騒音・振動・故障・破損の原因になります。



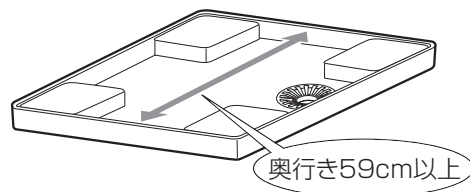
防水パンに設置する場合は

防水パンの内寸は図に示す寸法が必要

- ・ 台なし防水パン



- ・ 台付き防水パン



※ 防水パンが設置されておらず、床が防水でないときは、洗濯機用トレーを設置してください。
室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれることがあります。

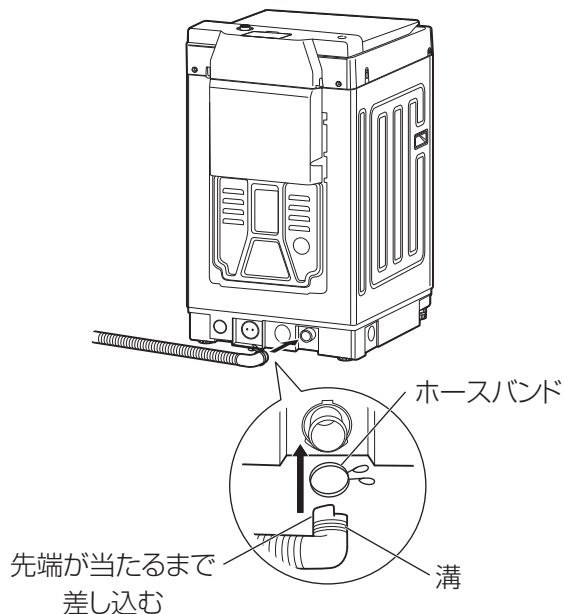
排水口の清掃

排水ホースを取り付ける前に排水口を掃除する

※ 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不良、においの原因になります。

2 排水ホースを本体に接続する

- ・ 排水ホースは、本体の排水ホース接続口に、ホースバンドでしっかり接続されているか確認してください。
- ・ ホースバンドは、排水ホース先端の溝部で固定してください。



- 排水ホースの先端が奥までしっかり差し込まれていることを確認してください。
- ホースバンドが溝部にしっかりはまって、固定されていることを確認してください。

3 排水ホースを排水口に接続する



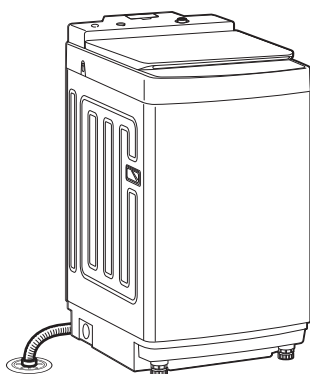
注意

- 排水ホースをたるませたり、ねじったりしないでください。
- 排水ホースは、本体底面とこすれないようにしてください。
- 排水ホースは、高さ10cm以内にしてください。

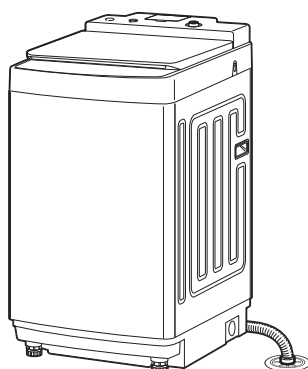
- 排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるときは、そのまま排水ホースを排水口に接続します。
- 排水口が本体の下にあるときは、真下排水パイプと台付き防水パンや防振かさ上げ台などを使用して排水口に接続します。

排水口が本体の右側・左側・後ろ側にあるとき
それぞれ下図のように排水ホースを引き出し、排水口に接続する

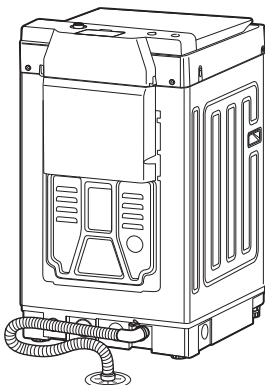
排水口が左側にあるとき



排水口が右側にあるとき

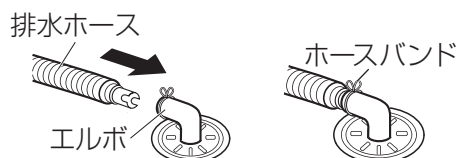


排水口が後ろ側にあるとき



排水口への接続

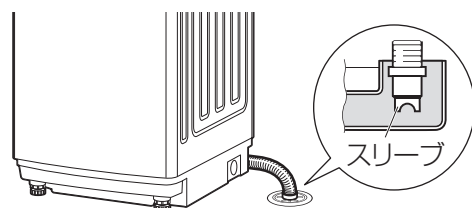
- ・排水口にエルボがある場合は、エルボに排水ホースを差し込みます。
- ※ホースが本体底面などこすれないように注意してください。ホースに穴が開くと、水もれの原因になります。
- ※排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



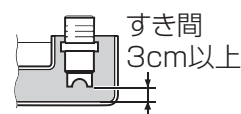
- ※排水ホースの先端をつぶさないでください。水もれの原因になります。



- ・排水口にエルボがない場合は、排水ホースの先端を排水口に差し込みます。



- ※ホースの先と排水口の底の間に3cm以上のすき間を設けてください。

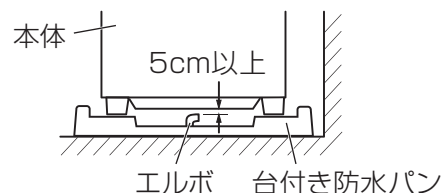


排水口が本体の下にあるとき

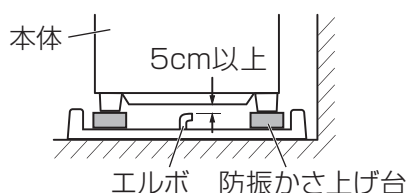
排水口への接続

- ・床と本体底面の間に5cm以上のすき間を確保できるように、台付き防水パンなどを使用するか、防振かさ上げを使用して高さを調節してください。
- ・床と製品のすき間に排水ホースを入れて、エルボに接続してください。

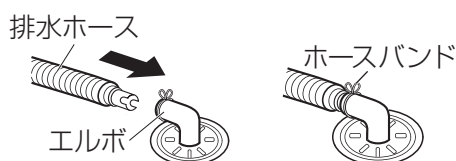
台付き防水パンの場合



台付き防水パンでない場合



- ※ 排水ホースは、エルボのホースバンドでしっかり固定してください。
- ※ 排水ホースとエルボの差し込みがゆるい場合は、エルボを交換してください。



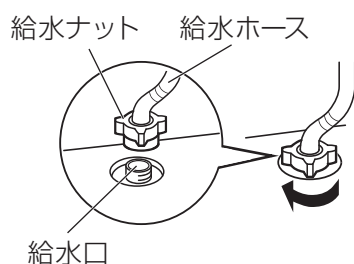
- ・排水口にエルボがない場合は、市販の排水トラップエルボを取り付けてください。

4 給水ホースを本体へ接続する



- 給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。
- 床近傍の給水栓に接続しないでください。給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

- ・給水ホースの先に付いている給水ナットを、傾けないように本体の給水口に合わせて、給水ナットを締めこんでください。
- ※ ナットは最後まできっちり締めてください。



5 給水ホースを水栓に接続する

水栓を確認する

接続できる給水栓



ニップル付き水栓

付属の継手は使用せず、継手を外して、付属の給水ホースを直接接続する。(→P3)

付属の継手を使用して接続できる給水栓



横水栓

付属の継手を給水ホースから取り外し、給水栓に取り付けて、給水ホースを接続する。(→P3)

接続できない給水栓



自在水栓

万能ホーム水栓

カップリング横水栓

つばなしワンタッチ水栓

① お願い

- 上記の水栓には、付属の継手は取り付けできません。水栓の種類に応じて、市販の洗濯機用ニップルを取り付けて使用してください。

自在水栓

カップリング横水栓

洗濯機用ニップル



万能ホース水栓

つばなしワンタッチ水栓

洗濯機用L型ニップル

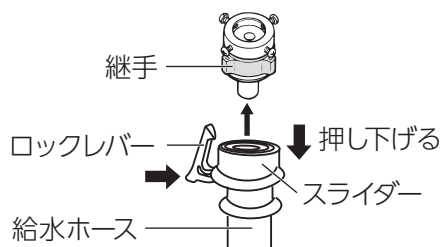


据え付け つづき

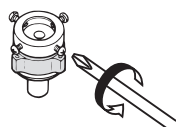
付属の継手の取り付けかた

- 給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

①給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを押し下げて、引っ張って外す

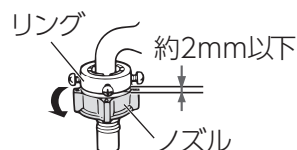


②継手の4本のねじをゆるめる



⑤ノズルを右に回して締める

- ノズルとリングの間に2mm以下になるように締める。



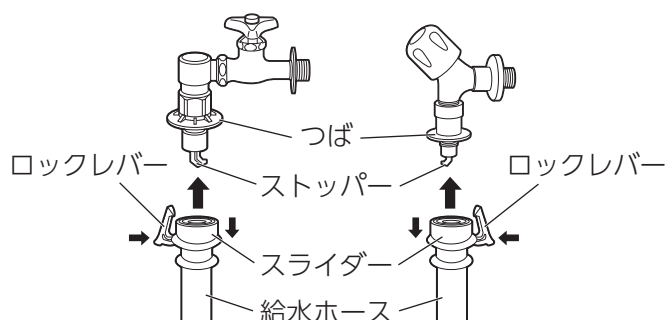
① お願い

- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
- 付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

■ 接続のしかた

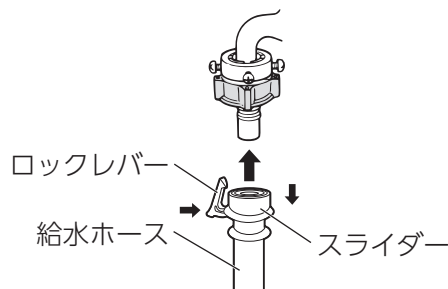
ニップル付き給水栓に接続する場合

- 付属の継手を取り外し、スライダーを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



付属の継手を使用する場合

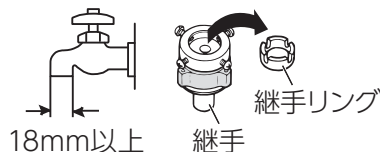
- スライダーを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



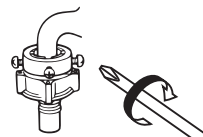
- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

👉 ポイント

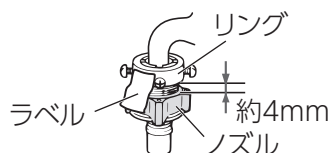
- 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。



③給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締める



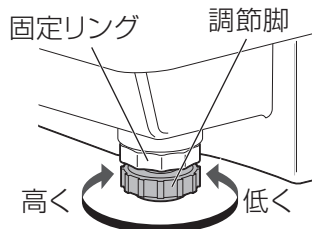
④継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



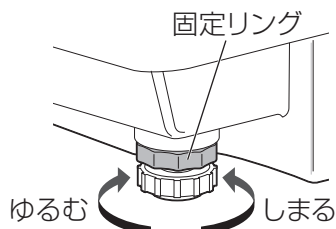
※ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。

6 水平・がたつきの確認をする

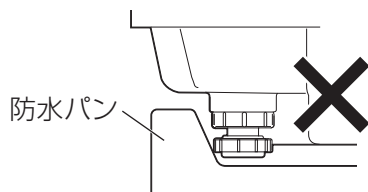
左右の調節脚を回して、がたつきがないように調整する



- 固定リングをゆるめ、調節脚を回して高さを調節したら、固定リングを締めて固定してください。

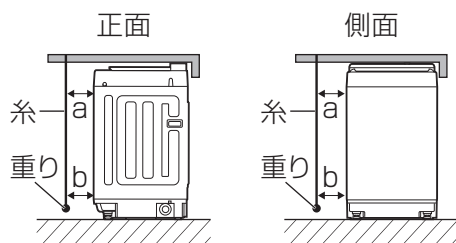


※ 本体底部が、防水パンのふちやコーナー部などに乗り上げたりしていないことを確認してください。



本体が水平になっているか確認する

- 正面と側面で、重りを付けた糸を下げ、上側と下側ですき間に1cm以上の差がないようにしてください。



aとbの差=1cm以内

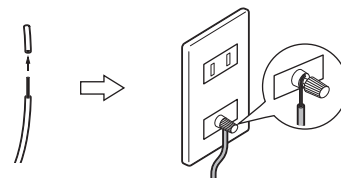
本体の対角線上の角を押して、がたつきがないことを確認する

※ がたつきのあるときは、再度調整してください。

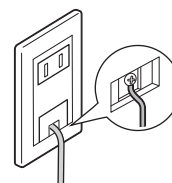
7 アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合

- アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。

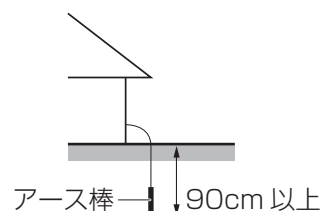


- ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。



アース端子付きコンセントがない場合

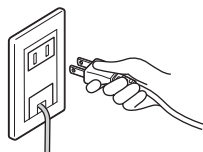
- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



警告

- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。

8 電源プラグをコンセントに差し込む



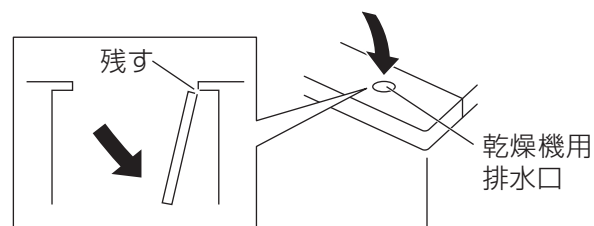
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードは、たばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。



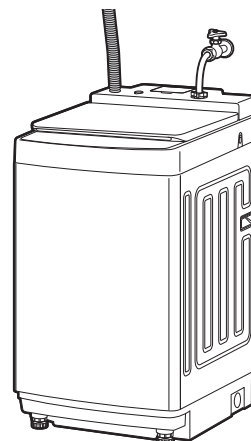
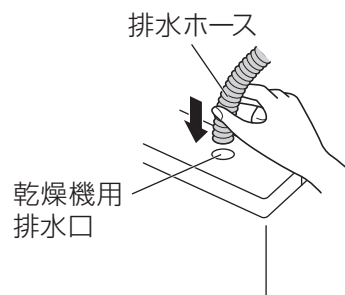
警告

9 衣類乾燥機とセットで使うとき

① 洗濯機の乾燥機用排水口を押し、内側へ押し込む



② 衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、乾燥機用排水口へ3山以上押し込む



- ・ 差し込みが不十分だと、乾燥機の水蒸気がもれて結露するおそれがあります。

10 試運転する

・次の手順で試運転してください。

1 電源プラグを差し込み、水栓を開く

・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ふたを閉め、電源 切／入ボタンを押して電源を入れ、水位ボタンを押し、一番上の水位を選ぶ

3 スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

・給水開始したら、ふたロックランプが点灯して、ふたがロックされることを確認してください。
・約5分間運転し、異常音・水もれがないことを確認してください。

4 スタート／一時停止ボタンを押して、一時停止する

・ふたを開けて、ふたロックが解除されることを確認してください。

5 電源 切／入ボタンを押して電源を切り、再度押して電源を入れ直す

6 ふたを閉めて、行程ボタンと設定ボタンで脱水のみに設定し、スタート／一時停止ボタンを押してスタートする

・ふたロックされます。
・排水が始まります。排水口・排水ホースから水もれがないこと、にごった水が出ないことを確認してください。
・約3分間脱水し、異常音・異常振動がないことを確認してください。
・モーターは通電による制御をするため、モーター音は一定ではありませんが、異常ではありません。

7 スタート／一時停止ボタンを押して一時停止する

・約10秒でふたロックが解除されることを確認してください。

8 電源 切／入ボタンを押して、電源を切る

チェックシート

・据え付け完了後、各項目を確認して、□の中に✓印を入れ、この据付説明書をお客様に渡してください。

- ☐ AC100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用しています。
- ☐ コンセントのゆるみや、電源コード・電源プラグの傷みはないことを確認しました。
- ☐ アース線の接続は確実に行いました。(感電防止のため、アースは必ず接続してください。)
- ☐ 給水ホースの、水栓・本体との接続部に水もれがないことを確認しました。
- ☐ 試運転して、にごった水は出ないことを確認しました。
- ☐ 排水口に糸くずなどのごみがたまっていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホース先端が、本体の排水ホース取り付け部に奥までしっかり差し込まれ、ホースバンドが溝部にしっかり取り付けられていることを確認しました。
- ☐ 排水ホースが、本体の下にはさまったり、よじれたり、つぶれたりしていないことを確認しました。
- ☐ 排水ホースが10cm以上持ち上がっていないことを確認しました。
- ☐ 本体の対角線上の角を押したときに、がたつきがないことを確認しました。
- ☐ 調節脚の固定リングをしっかり締めたことを確認しました。(本体底面と固定リングの間にすき間がないこと)
- ☐ 試運転して、異常音、水もれ、電源コード・排水ホース・給水ホースの本体への接触はなく、正常に給水・排水されることを確認しました。

確認日: 年 月 日

確認者:

工事(施工)会社名:

問い合わせ先 電話番号:

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohtyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ(通話料無料)

アイリスコール 0800-919-0770

9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

